

会議名 (審議会等名)	第1回 市立川西病院事業経営改革審議会		
事務局 (担当課)	企画財政部政策推進室政策課 内線(2111)		
開催日時	平成20年6月26日(木) 午後7時00分～午後9時30分		
開催場所	市立川西病院 2階 講義室		
出席者	委員	甲斐会長・三木副会長・青木委員・神竹委員・團野委員・ 中村委員・難波委員・原田委員・藤井委員	
		欠席委員：吉川委員	
	市出席者	大塩市長・水田副市長	
	事務局	角田企画財政部長・本荘政策推進室長・大屋敷政策課課長・石田 政策課課長補佐・丸山市立川西病院副院長・野崎市立川西病院副 院長・中村市立川西病院看護部長・岩井市立川西病院事務長・山 田市立川西病院事務次長 監査法人トーマツ(池田・竹内・山口・原田)	
傍聴の可否	可・ <input checked="" type="checkbox"/> 不可・一部不可	傍聴者数	一人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由	今回の会議が第1回目で、会議公開に対する方針が決定しておらず、委員に会議公開制度についての周知を図る必要があったため。		
会議次第	①開会 ②委嘱状交付 ③市長あいさつ ④委員自己紹介 ⑤議事 (1)市立川西病院事業経営改革審議会について【資料1】 (2)会長及び副会長の選任について (3)市立川西病院事業経営改革プランの策定について(諮問) (4)部会の設置及び部会長の選任について (5)市立川西病院事業経営改革審議会会議公開制度運用要綱について【資料2】 (6)市立川西病院の概要について【資料3】 (7)今後の進め方について【資料3】 (8)その他 ⑥閉会		
会議結果	会長、副会長、部会長の選任、諮問等を行うとともに、全ての議事について承認を得た。		

◆主な発言（要旨）

会長：医業収益全体の数字は出されているが、診療科別の収益、採算などについての数字も必要である。

委員：収益が低く、費用は他病院並みと説明があったが、診療報酬が上がる7対1看護基準になるのに看護師はどの程度不足しているか。

事務局：看護師数は30名程度不足していると考えている。これ以上患者数を減らすことはできないため看護師の採用が必要である。看護基準を7対1にするのが、最も収益にインパクトを与えていると考えており、積極的に決断したいが難しい状況にある。

委員：診療科別の損益は出しているか。

事務局：現在、部門別損益を計算しており、第3回の審議会には提示できると考えている。

委員：一般会計繰入金は全て川西市からのものか。

事務局：救急に関する補助金などを除き、ほとんどが川西市からのものである。

委員：病院の診療圏は半径5キロメートル以内と一般的にいわれている。南部エリアは半径5キロメートル以内に入っていないので、川西病院がカバーする範囲ではないということが図にそのまま表れている。

委員：川西病院の患者が北部エリアからしか来ていないというのは、もともとの病院の目的と一致しているのか、それとも期待はずれなのかが知りたい。

委員：川西市北部の住民は増え、患者が減っている調査結果が出ているが、その原因が知りたい。

委員：各病棟の利用率はわかるか。各フロアの回転率など、その資料はあるか。

事務局：今回の資料には記載していないが、データとしては把握している。

委員：猪名川町には急性期病院がないにもかかわらず、猪名川町の入院患者が少ないのはなぜか。

事務局：猪名川町からのアクセスを考えた場合、当院もベリタス病院も同距離にあり、救急患者はベリタス病院が増加傾向にある。

委員：一般外来の患者の病院への交通手段は何か。

事務局：ほとんどが自家用車である。山下駅からバスも出ているが、1時間に一本程度であり、どの程度利用されているかは把握していない。

会長：過去に患者や住民に対してアンケート調査をしたことがあるか。

事務局：外来患者に毎年1回アンケートをとっている。対象患者は300名程度であり、90%程度の回答率がある。

委員：地域住民との懇話会・懇談会は行っているか。また、その回数や内容の掌握はされているか。

事務局：市民向けの医療講座や、年3回程度の健康フェアを行っている。また今年は清和台のアステホールでも医療講座を行う予定である。

委員：アンケートによって市立病院に対する要望は入ってきたか。

事務局：病院内の地域医療室へ要望が入ってくるので、その後、病院内に回答を掲示している。

委員：市民の方にアンケートをされて、院外処方に対する不満はなかったか。住民にメリットがないのに院外処方にふみきった理由は何か。厚生労働省に言われて指導に従ったということか。病院内の内服薬や注射は、院外処方にしても病院で管理しなくてはいけない。計算上の数値と住民のマイナスイメージなどはどうなっているのか。

委員：院外処方化は私が院長に着任する前に行ったが、患者の評判はよくないと聞いている。

委員：薬価差益が8%というのは低いと思われる私の病院も院外処方だが13%程度はある。

委員：紹介率が低いですが、紹介率に関する今後の方向性を考える必要がある。

委員：患者は療養介護が必要になる前に、病院とつながりを作っておこうとして開業医や療養施設のある病院へ行くのではないかと考えている。急性期に固執するのではなく、老人保健施設なども視野に入れて考える必要がある。

◆今後の進め方について

北部エリアの患者獲得・診療科別損益状況の把握・院外処方の損益に対する影響の分析という3つの課題の方向性と今後の調査について、審議会委員の方々から承認をいただいた。

◆次回審議会の日程

審議会委員の日程調整の結果、第2回審議会は7月22日（火）、第3回審議会は8月21日（木）に執り行うことを予定している。

市立川西病院事業経営改革審議会（第1回）出席者名簿

（平成20年6月26日現在）

（五十音順 敬称略）

	氏 名	役 職 名 等	備考
1	あおき なほこ 青木 菜穂子	兵庫医療大学看護学部准教授	
2	かい よしたか 甲斐 良隆	関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科教授	
3	かみたけ ひでき 神竹 秀樹	財団法人 甲南病院副理事長兼法人本部長	
4	だんの げんいち 團野 源一	大阪青山大学健康科学部健康栄養学科教授	
5	なかむら きよひで 中村 清秀	川西市コミュニティ協議会連合会会長	
6	なんば みつよし 難波 光義	兵庫医科大学内科学糖尿病科教授	
7	はらだ かずたか 原田 一孝	川西市病院事業管理者	
8	ふじい やすまさ 藤井 康正	兵庫県阪神北県民局県民生活部長	
9	み き あつし 三木 篤志	川西市医師会会長	
10	よしかわ ひでき 吉川 秀樹	大阪大学大学院医学系研究科器官制御外科学（整形外科）教授	欠席

平成20年度市立川西病院事業経営改革審議会（第1回）会議次第

日時：平成20年6月26日（木）
午後7時～
場所：市立川西病院2階 講義室

1 開 会

2 委嘱状交付

3 市長あいさつ

4 委員自己紹介

5 議 事

(1) 市立川西病院事業経営改革審議会について【資料1】

(2) 会長及び副会長の選任について

(3) 市立川西病院事業経営改革プランの策定について（諮問）

(4) 部会の設置及び部会長の選任について

(5) 市立川西病院事業経営改革審議会会議公開制度運用要綱について【資料2】

(6) 市立川西病院の概要について【資料3】

(7) 今後の進め方について【資料3】

(8) その他

6 閉 会

○市立川西病院事業経営改革審議会規則

平成20年4月1日

規則第28号

(趣旨)

第1条 この規則は、川西市付属機関に関する条例(昭和52年川西市条例第3号)第3条の規定に基づき、市立川西病院事業経営改革審議会(以下「審議会」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 審議会は、市長の諮問に応じ、次に掲げる事項について調査審議する。

- (1) 市立川西病院事業(以下「病院事業」という。)の基本的方向に関する事項
- (2) 病院事業の経営改革に係る推進方策に関する事項
- (3) 病院事業の経営改革に係る具体的な方策の推進に関する事項
- (4) 前3号に掲げるもののほか、病院事業の運営に関する重要な事項

(組織)

第3条 審議会は、委員15人以内をもって組織する。

- 2 委員は、市長が委嘱する。
- 3 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員は、再任されることができる。

(会長等)

第4条 審議会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。
- 3 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 審議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

- 2 審議会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 議長は、必要と認めたときは、会議に委員以外の者を出席させて意見を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(部会)

第6条 会長は、必要があると認めるときは、審議会に部会を置くことができる。

- 2 部会に属すべき委員は、会長が指名する。
- 3 部会に部会長を置き、部会に属する委員のうちから、会長が指名する。
- 4 部会長は、部会の事務を掌理し、部会における審議の状況及び結果を審議会に報告する。
- 5 部会長に事故があるとき、又は部会長が欠けたときは、部会に属する委員のうちから、部会長があらかじめ指名する者がその職務を代理する。
- 6 前条の規定は、部会について準用する。

(庶務)

第7条 審議会の庶務は、企画財政部政策推進室政策課において処理する。

(補則)

第8条 この規則に定めるもののほか必要な事項は、審議会が定める。

付 則

(施行期日)

- 1 この規則は、公布の日から施行する。

(招集の特例)

- 2 この規則の施行の日以後、最初に開かれる審議会は、第5条第1項の規定にかかわらず、市長が招集する。

平成20年6月26日

市立川西病院事業経営改革審議会
会長 甲斐 良隆 様

川西市長 大塩 民生

市立川西病院事業経営改革プランの策定について（諮問）

市立川西病院事業経営改革プランの策定にあたり、市立川西病院事業経営改革審議会規則第2条の規定に基づき、貴審議会の意見を求めます。

市立川西病院事業経営改革審議会 会議公開制度運用要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、市立川西病院事業経営改革審議会（以下「審議会」という。）会議公開制度の運用に関し、必要な事項を定めるものとする。

(会議公開)

第2条 会議公開は、審議会等設置状況の公開、会議の開催日時等の公開、会議の傍聴、会議録の公開等により行うものとする。

2 前項に掲げる会議公開は、審議会の自主的な情報提供として実施するものである。

(審議会等設置状況の公開)

第3条 企画財政部政策推進室政策課（以下「事務局」という。）は、次に掲げる事項を記載した審議会等設置状況（様式第1号）を速やかに作成し、市政情報コーナーにおいて、閲覧の用に供するものとする。また、内容に変更があった場合も同様とする。

- (1) 審議会等の名称
- (2) 事務局（担当課）
- (3) 設置の根拠
- (4) 設置年月日
- (5) 担当事務
- (6) 委員数
- (7) 委員の任期
- (8) 委員の構成（選出基準）
- (9) 諮問答申事項等
- (10) 部会等の名称及び役割
- (11) 委員名簿

2 前項第11号の委員名簿は、役職、氏名、選出基準を記載するものとする。

(会議の開催日時等の公開)

第4条 会議の開催日時等は、事前に公開するものとする。

2 前項の公開は、次に掲げる事項を記載した会議開催のお知らせ（様式第2号）を事務局の窓口、市政情報コーナー等で閲覧の用に供するとともに、事務局及び市政情報コーナーへの電話照会に答えることにより行うものとする。

- (1) 会議名（審議会等名）
- (2) 開催日時及び場所

- (3) 会議次第
- (4) 傍聴の可否予定及び傍聴を認めない場合又はその一部を認めない場合にあつてはその理由
- (5) 傍聴定員（予定）
- (6) 事務局（担当課）

3 特に必要と認めるときは、開催日時等の市広報紙への掲載を市長に依頼するものとする。

4 傍聴の可否については会長が事務局と事前に協議して決定する。

5 開催日時のお知らせは、会議の開催日の概ね1週間前までに事務局、市政情報コーナー及び市ホームページで閲覧の用に供するよう努めるものとする。また、内容に変更があつたときも同様とする。

（会議の傍聴をすることができる者）

第5条 何人も会議の傍聴をすることができる。

（会議の傍聴）

第6条 会議は、原則として傍聴を認めるものとする。

2 前項の規定にかかわらず、会議の議題が、川西市情報公開条例（平成4年川西市条例第8号）第7条第1項各号に規定する非公開情報に該当すると認めるときは、会議の傍聴を認めないものとする。

3 傍聴人の定員は、10人とする。ただし、必要と認めるときは、これを変更することができる。

4 傍聴の受付は、会場で会議開催の概ね30分前から先着順に行う。ただし、受付開始時に定員を超える希望者があるときは、抽選等により傍聴人を決定するものとする。

5 審議会等の会議公開に係る傍聴要領は、会場の見やすい場所に掲示するなど傍聴人への周知を図り、傍聴人はこれを遵守しなければならない。

6 会議の傍聴を認める場合においては、傍聴人に会議の議題を記載した会議次第を配布するものとする。

7 その他、会議の傍聴に関し、必要な事項は別に定めるものとする。

（会議録の公開等）

第7条 会議の終了後、遅滞なく、次に掲げる事項を記載した会議録（様式第3号）を作成するものとする。

- (1) 会議名（審議会等名）
- (2) 事務局（担当課）

- (3) 開催日時及び開催場所
 - (4) 出席者
 - (5) 傍聴の可否及び傍聴を認めなかった場合又はその一部を認めなかった場合にあつてはその理由
 - (6) 傍聴者数
 - (7) 会議次第及び会議結果
 - (8) 審議経過（主な発言要旨等）
- 2 第1項の規定により作成した会議録は、会議録に係る会議の開催日以後1箇月以内に会長の承認を得るものとする。ただし、特別の事情があると認めるときはこの限りでない。
 - 3 第2項の承認を得た会議録については、速やかに市政情報公開コーナー及び市ホームページにおいて、公開を行うものとする。
 - 4 川西市情報公開条例第7条第1項各号に規定する非公開情報に該当すると認めるときは、第1項第8号の審議経過の全部を公開せず、又はその一部を公開しないことができる。
 - 5 会議録の公開は、情報提供として、第1項の会議録を閲覧に供することにより行うものとする。
 - 6 事務局が必要と認めるときは、会議結果の市広報紙への掲載を市長に依頼する等、会議結果の公表に努めるものとする。

付 則

- 1 この要綱は、平成20年6月26日から施行し、同日以後に開催する会議について適用する。

様式第 1 号

審議会等の設置状況

項 目	内 容
①審議会等の名称	市立川西病院事業経営改革審議会
②事務局（担当課）	企画財政部政策推進室政策課 内線（2111）
③設置の根拠	川西市付属機関に関する条例 市立川西病院事業経営改革審議会規則
④設置年月日	平成 20 年 4 月 1 日
⑤担当事務	病院事業経営改革についての重要事項の調査審議
⑥委員数	10 人（男 9 人、女 1 人）
⑦委員の任期	平成 20 年 6 月 26 日から平成 22 年 6 月 25 日まで
⑧委員の構成（選出基準）	学識経験者、民間病院関係者、市民・利用者代表、地域医療関係行政機関の職員、市医師会代表者等
⑨諮問答申事項等	市立川西病院事業経営改革プラン策定への意見
⑩部会等の名称及び役割	市立川西病院事業経営改革審議会作業部会 審議会が付託する病院事業の経営改革に係る重要事項の専門的かつ具体的な検討と検討結果の審議会への報告
⑪委員名簿	別紙のとおり

市立川西病院事業経営改革審議会委員名簿

(五十音順 敬称略)

	氏 名	役 職 名 等	備考 (選出区分等)
1	あおき なほこ 青木 菜穂子	兵庫医療大学看護学部准教授	学識経験者
2	かい よしたか 甲斐 良隆	関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科教授	学識経験者
3	かみたけ ひでき 神竹 秀樹	財団法人 甲南病院副理事長兼法人本部長	民間病院経営関係者
4	だんの げんいち 團野 源一	大阪青山大学健康科学部健康栄養学科教授	学識経験者
5	なかむら きよひで 中村 清秀	川西市コミュニティ協議会連合会会長	市民・利用者代表
6	なんば みつよし 難波 光義	兵庫医科大学内科学糖尿病科教授	学識経験者
7	はらだ かずたか 原田 一孝	川西市病院事業管理者	川西市病院事業管理者
8	ふじい やすまさ 藤井 康正	兵庫県阪神北県民局県民生活部長	地域医療関係行政機関の職員
9	み き あつし 三木 篤志	川西市医師会会長	市医師会代表者
10	よしかわ ひでき 吉川 秀樹	大阪大学大学院医学系研究科器官制御外科学 (整形外科) 教授	学識経験者

様式第 2 号

会議開催のお知らせ

会議名 (審議会等名)		
開催日時		
開催場所		
会議次第		
傍聴の可否予定は可・不可・一部不可です ※議題により変更になる場合があります	傍聴者定員 (予定)	
傍聴不可・一部 不可の場合は、 その理由		
事務局 (担当課)		

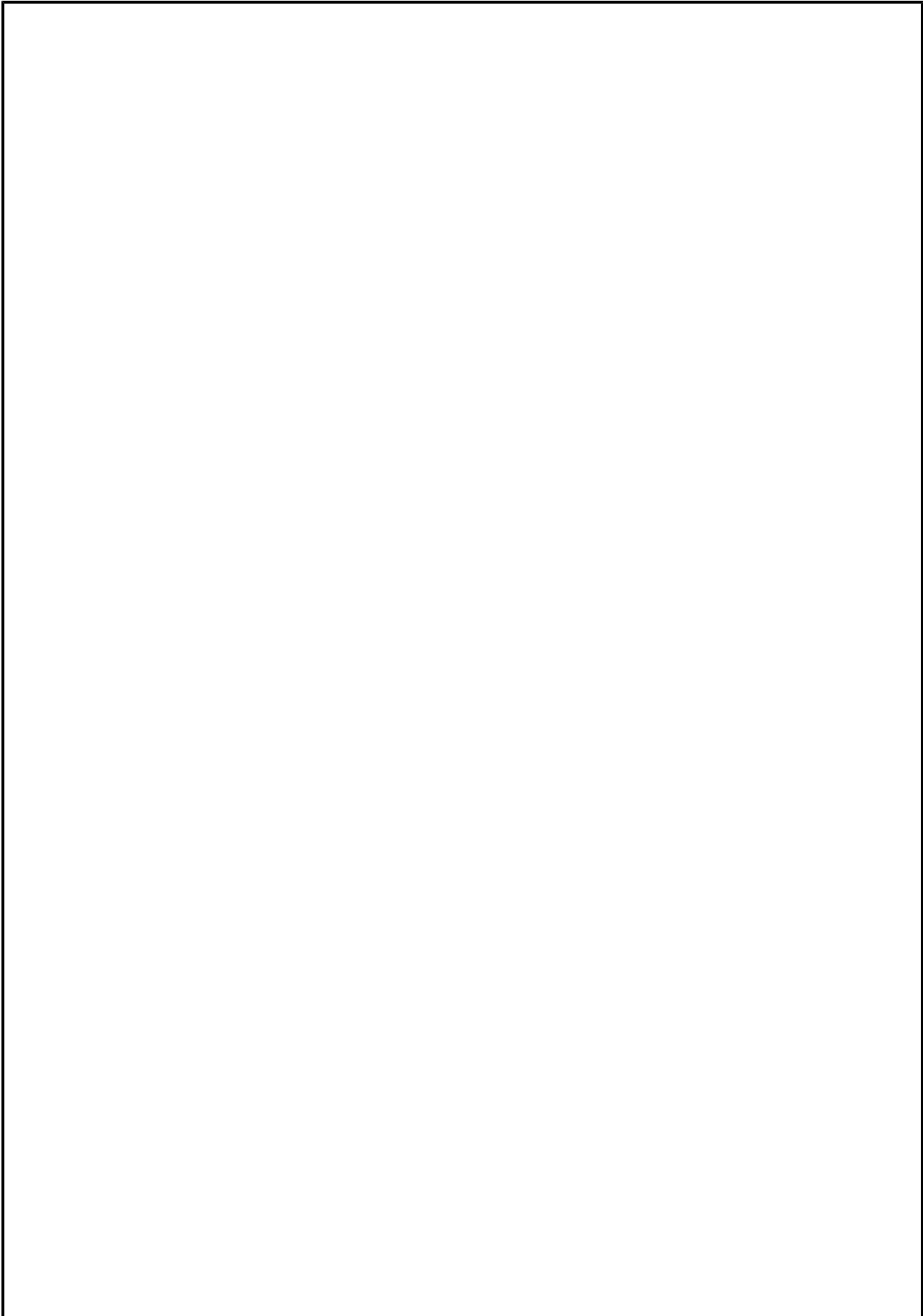
様式第 3 号

会 議 録

会 議 名			
事務局（担当課）			
開催日時			
開催場所			
出席者	委員		
	その他		
	事務局		
傍聴の可否	可 ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	
傍聴不可・一部 不可の場合は、 その理由			
会議次第			
会議結果			

審 議 經 過

No.



市立川西病院事業経営改革審議会の会議公開に係る傍聴要領

(趣旨)

第1条 この要領は、会議の傍聴に関し必要な事項を定めるものとする。

(傍聴手続)

第2条 会議を傍聴しようとする者（以下「傍聴人」という。）は、傍聴人名簿に氏名、住所及び電話番号を記入し、係員の指示に従い傍聴席に着かなければならない。

(傍聴できない人)

第3条 次の各号のいずれかに該当するものは、傍聴することができない。

- (1) 銃器その他危険な者を持っている者
- (2) 酒気を帯びていると認められる者
- (3) 異様な服装をしている者
- (4) はり紙、ビラ、掲示板、プラカード、旗、のぼりの類を持っている者
- (5) 笛、ラッパ、太鼓その他楽器の類を持っている者
- (6) 前各号に定める者のほか、議事を妨害し、又は人に迷惑を及ぼすと認められる物を持っている者

(傍聴人の守るべき事項)

第4条 傍聴人は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 静粛を旨とし、審議会における言論に対して拍手その他の方法により、公然と可否を表明しないこと。
- (2) 談論し、放歌し、高笑いしその他騒ぎ立てないこと。
- (3) はち巻、たすきの類をする等示威的な行為をしないこと。
- (4) 飲食をしないこと。
- (5) みだりに席を離れ又は不体裁な行為をしないこと。
- (6) 前各号に定めるもののほか、審議会の秩序を乱し、又は妨害となるような行為はしないこと。

(撮影、録音等の禁止)

第5条 傍聴人は、写真、映画等を撮影し、又は録音等をしてはならない。ただし、特に審議会の許可を得た者はこの限りでない。

(傍聴人の退場)

第6条 傍聴人は、傍聴を認めない旨の決定がなされたときは、速やかに退場しなければならない。

(係員の指示)

第7条 傍聴人は、係員の指示に従わなければならない。

(違反に対する措置)

第8条 傍聴人がこの要領に違反するときは、審議会の会長はこれを制止し、その命令に従わないときは、これを退場させることができる。

付 則

1 この要領は、平成20年6月26日から施行し、同日以後に開催する会議について適用する。

第1回審議会資料

2008年6月26日

目次

1. 市立川西病院概要	3
-------------	---

2. 診療圏概要	9
----------	---

3. 財務分析	15
---------	----

4. サマリーと今後の予定	25
---------------	----

1. 市立川西病院概要

市立川西病院概要

1) 施設概要

所在地	川西市東畦野5丁目21番1号		
開設年月日	昭和58年10月4日		
敷地面積	14,936.06m ²		
建物	病院本館	地上5階/地下1階	14,540.10m ²
	看護宿舎・保育園	地上5階	1,491.73 m ²
	医師住宅	地上2階	317.84m ²

2) 診療科 内科、小児科、外科、整形外科、産婦人科、耳鼻いんこう科、眼科、泌尿器科、麻酔科、放射線科

3) 病床数 283床(一般 280床、人間ドック 3床)

4) 病棟	3階北	38床(産婦人科、未熟児・新生児室、小児科、眼科、外科、整形外科)
	3階南	42床(小児科、未熟児室、内科、眼科)
	4階北	47床(整形外科、耳鼻いんこう科)
	4階南	49床(外科、泌尿器科)
	5階北	52床(内科)
	5階南	55床(内科、整形外科、人間ドック)

出所: 平成18年度 市立川西病院 病院年報

写真: 市立川西病院ホームページ http://www.jttk.zaq.ne.jp/kawanishi_hp/

市立川西病院全景



平成19年度末 総職員数 266名(常勤職員換算 328.3名)

医師	: 31名(43.4名)
看護師(助産師、看護師、准看護師)	: 175名(187.5名)
医療技術職員(診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、薬剤師、栄養士、視能訓練士)	: 39名(49.1名)
事務職員(総務課、業務課、地域医療室)	: 11名(20.5名)
技能労務員(汽かん士、看護助手、調理師)	: 10名(19.0名)
保育士、相談員、診療情報管理士	: 0名(8.8名)

(()内は常勤職員換算)

出所: 平成19年度 川西病院事業 会計決算書

市立川西病院沿革(昭和58年以降)

S58.10 新病院移転新築

[位置]現在の川西市東畦野5丁目21番地1号

[規模]敷地面積 14,936.06㎡

病院本館	(地上5階、地下1階建)	14,540.01㎡
看護宿舍	(地上5階建)	1,492㎡
医師住宅	(地上2階建)	318㎡

[病床数]275床 重症室8床 合計283床

(昭和58年度オープン時は225床 重症室7床 合計232床)

S59.5 閉鎖病床51床オープン 合計283床稼働

S59.10 人間ドック開始

S62.10 麻酔科増設、自己血輸血開始

S63.6 基準看護 類別一部変更承認

特三類看護 78床

特二類看護 205床

H4.10 基準看護 類別一部変更承認

特三類看護 131床

特二類看護 152床

H6.10 新看護届出

新看護料2.5対1 看護加算(A)

新看護補助料10対1

入院時食事療養制度の創設(基準給食制度の廃止)

入院食事療養()届出

H8.4 夜間看護加算届出

院内感染防止対策施設基準の届出

H11.11 体外衝撃波結石破碎装置を導入

地域医療室開設

H12.12 管理棟(医局)増築 48.29㎡

H14.12 診療録管理室設置

H15.8 管理型臨床研修病院指定

3階南病棟プレイルーム兼教室を病室に改造

H15.12 一般病棟入院基本料の 群入院基本料/変更承認

H18.4 亜急性病床(14床)設置

10:1看護基準届出

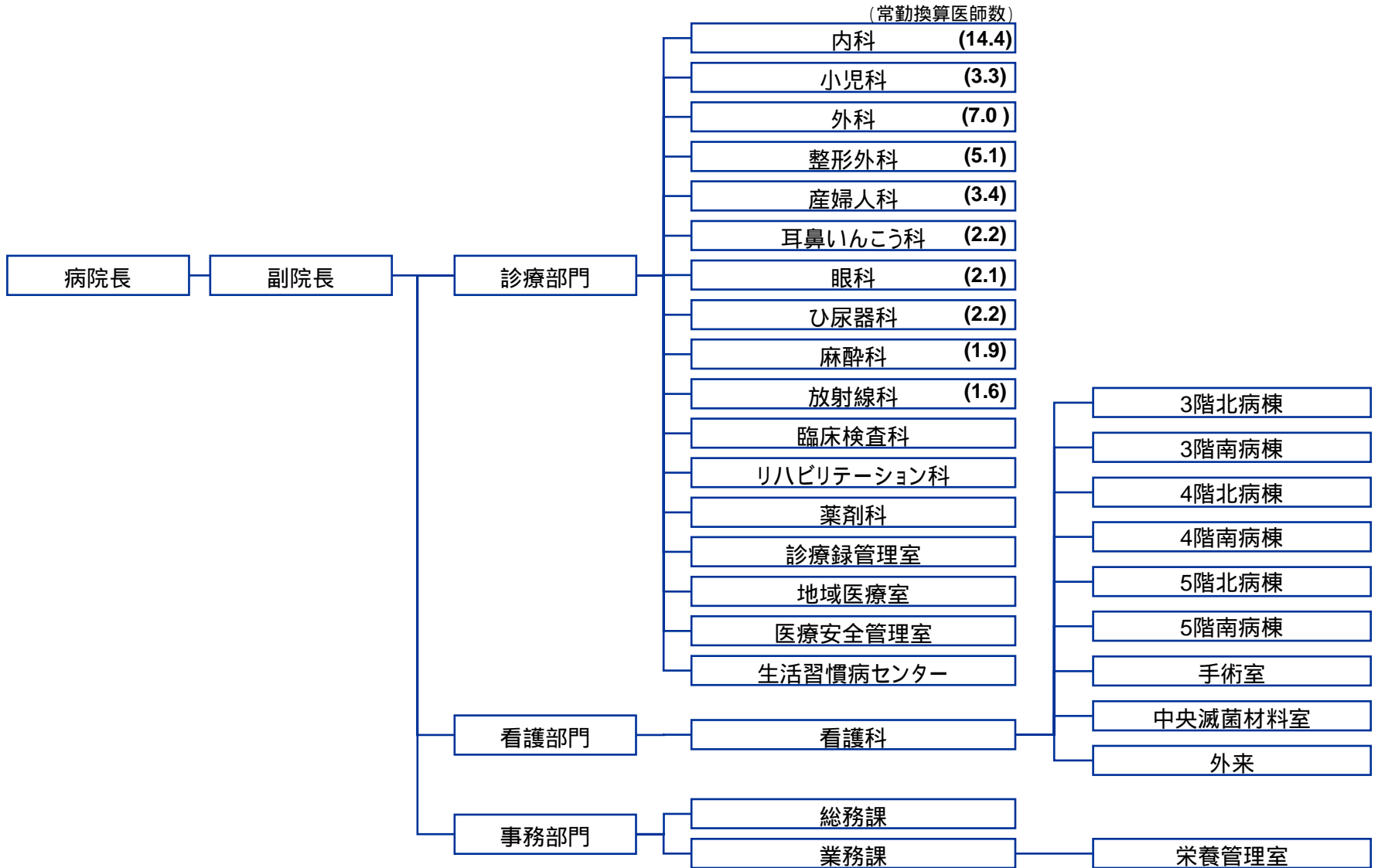
H18.11 亜急性期病棟を9床に変更

H19.4 DPC準備病院に参加

H20.3 亜急性期病棟を19床に変更

出所:平成18年度 市立川西病院 病院年報

病院組織図



病床配置

北病棟

5F	届出病床数	運用病床数 合計	内科	
	51	51	51	
個室/9部屋、特室/1部屋、重篤個室/1部屋、4人部屋/1部屋 6人部屋/6部屋				

南病棟

	届出病床数	運用病床数 合計	内科	
		51	51	51
個室/5部屋、特室/3部屋、重篤個室/1部屋、4人部屋/3部屋 6人部屋/5部屋				

4F	届出病床数	運用病床数 合計	整形外科	耳鼻咽喉科
		50	47	44
個室/6部屋、2人部屋/1部屋、6人部屋/7部屋				

	届出病床数	運用病床数 合計	外科	泌尿器科
		49	49	37
個室/9部屋、4人部屋/1部屋、6人部屋/6部屋				

3F	届出病床数	運用病床数 合計	産婦人科	
		35	12	12
個室/9部屋、4人部屋/2部屋、6人部屋/3部屋				

	届出病床数	運用病床数 合計	内科	小児科	眼科
		44	30	9	12
個室/6部屋、重篤個室/1部屋、2人部屋/1部屋、4人部屋/1部屋 6人部屋/4部屋、未熟児室(6人)/1部屋					

出所: 市立川西病院管理資料

H20年4月1日現在

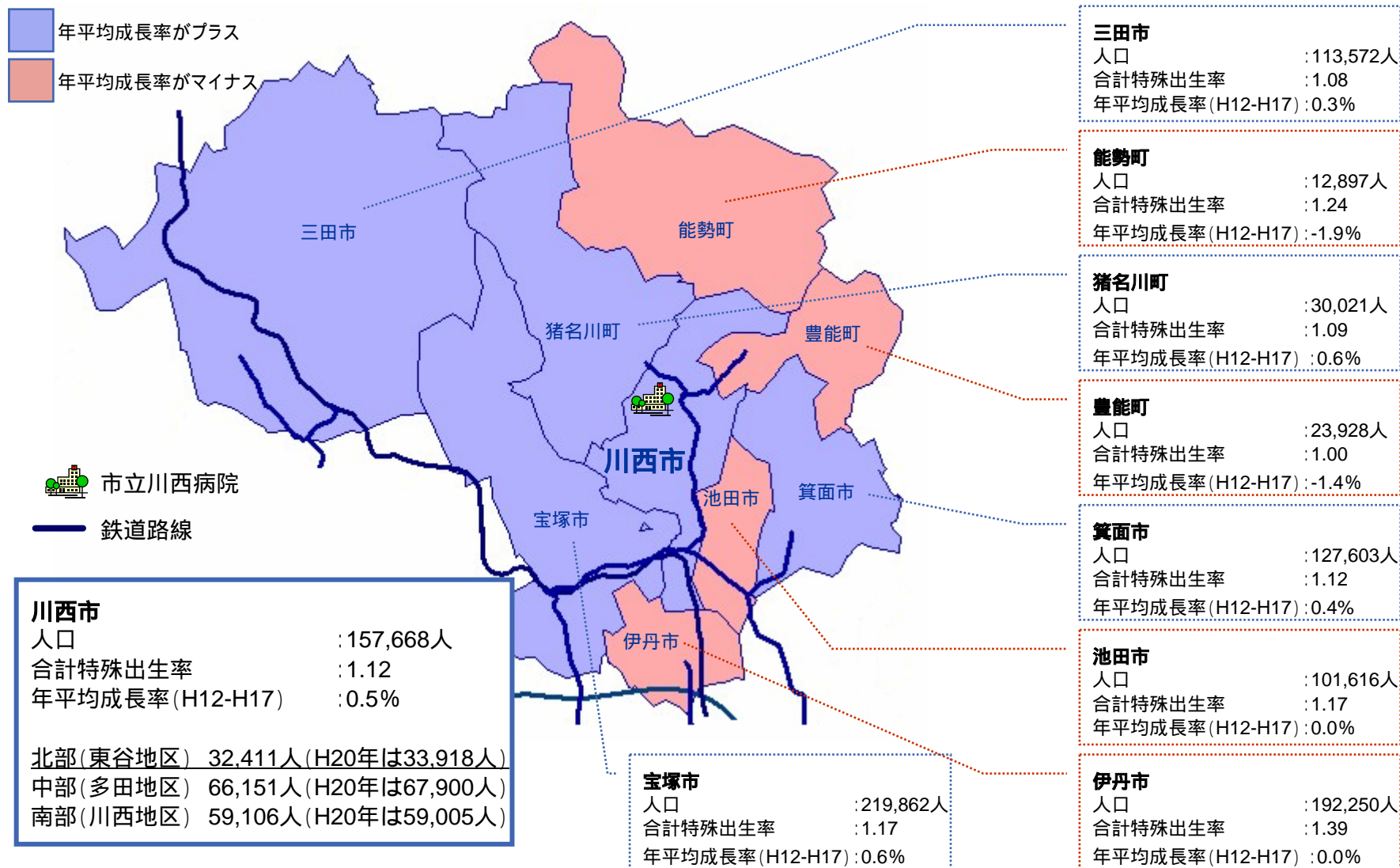
主な経営指標

項目		H16	H17	H18	H19	算式
医業利益対医業収益比率(%)		7.4	6.7	10.9	16.0	$\frac{\text{医業利益}}{\text{医業収益}} \times 100$
経常収支比率(%)		94.0	94.4	97.8	93.3	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$
流動比率(%)		84.4	67.6	65.2	51.0	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$
病床利用率(%)		85.4	83.2	76.2	75.1	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$
1日平均患者数(人)	入院	241.7	235.5	215.6	212.5	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{入院診療日数}}$
	外来	798.5	735.1	700.6	687.4	$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{外来診療日数}}$
患者1人1日当たり 診療単価(円)	入院	31,423	31,753	31,628	32,929	$\frac{\text{入院収益}}{\text{年延入院患者数}}$
	外来	10,871	11,851	11,753	6,982	$\frac{\text{外来収益}}{\text{年延外来患者数}}$
薬品使用効率(%) (投薬 + 注射)		108.6	114.2	111.9	113.5	$\frac{\text{薬品収入}}{\text{薬品費}} \times 100$
入院患者1人1日当たり 給食材料費(円)		835	844	743	704	$\frac{\text{患者給食材料費}}{\text{年延給食数}} / 3$

出所: 平成19年度 市立川西病院 病院年報

2. 診療圈概要

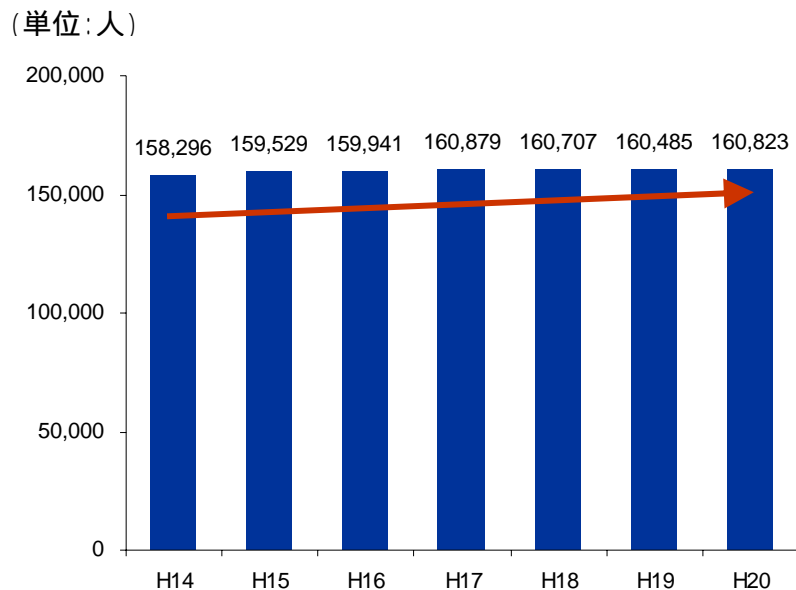
川西市近隣市町村の基礎情報



出所:平成17年度 国勢調査、各市町村HP

川西市の人口は微増傾向にある。また、地域別の人口構成はH2年度から大きな変化は見られない。

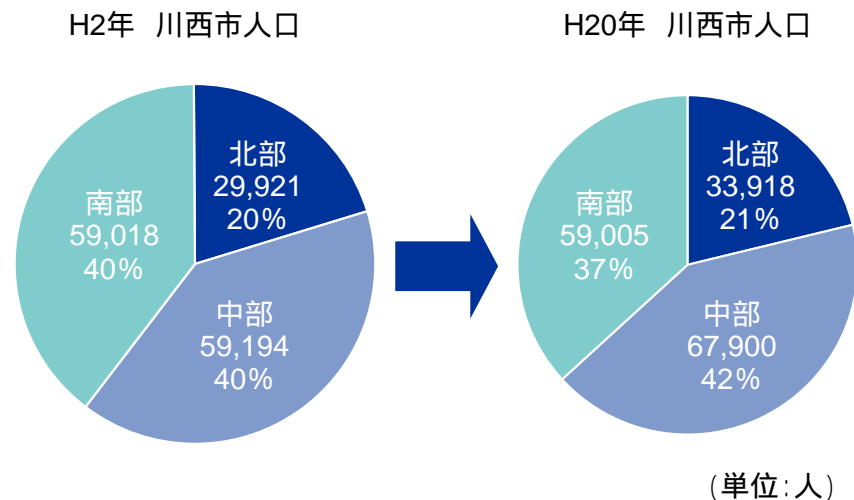
川西市の人口推移



出所:川西市ホームページ

- H17年度からH19年度にかけて減少がみられたが、H20年度においては増加に転じており、H14年度から見ると微弱ながら増加傾向にある。

川西市の地域別における人口割合

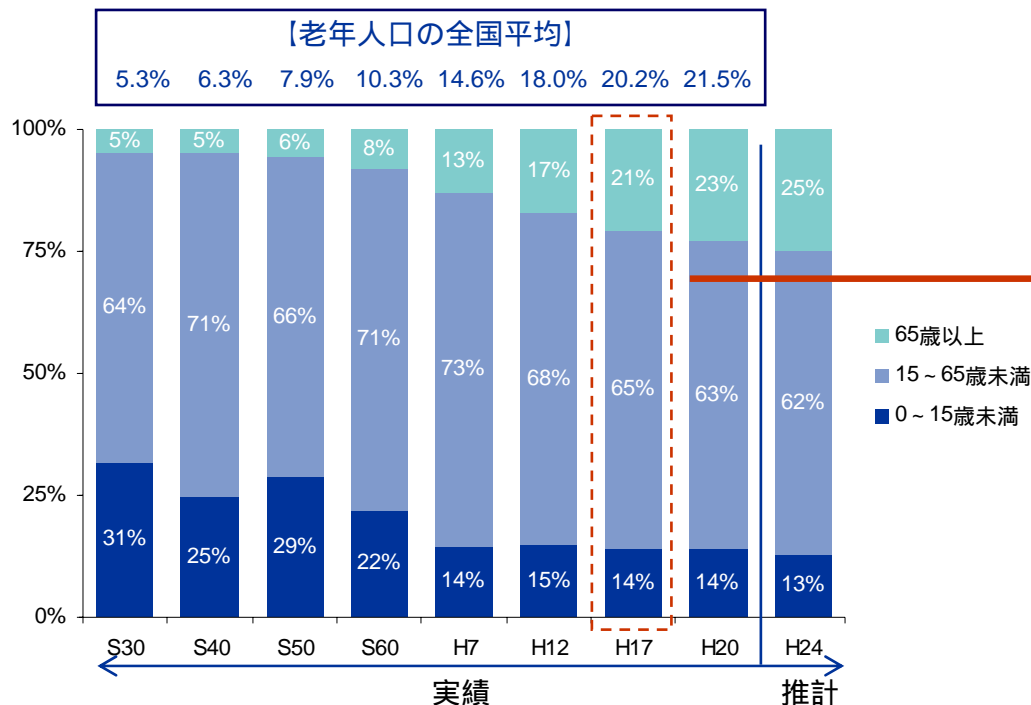


出所:川西市ホームページ

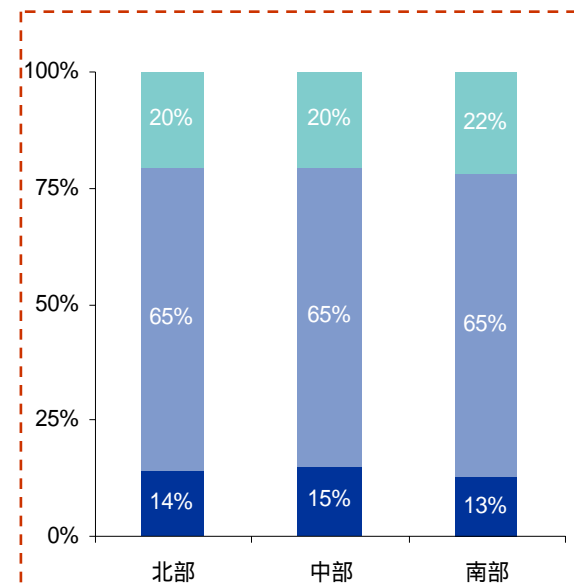
- 全体的に人口は増加しているが、北部、中部、南部ともに目立った人口の増減はみられない。

川西市の年齢別人口は65歳以上の老年人口の割合が増加傾向にあり、H17年度からは全国平均を上回っている。

川西市の年齢別人口比率



川西市地域別、年齢別人口(H17年度)



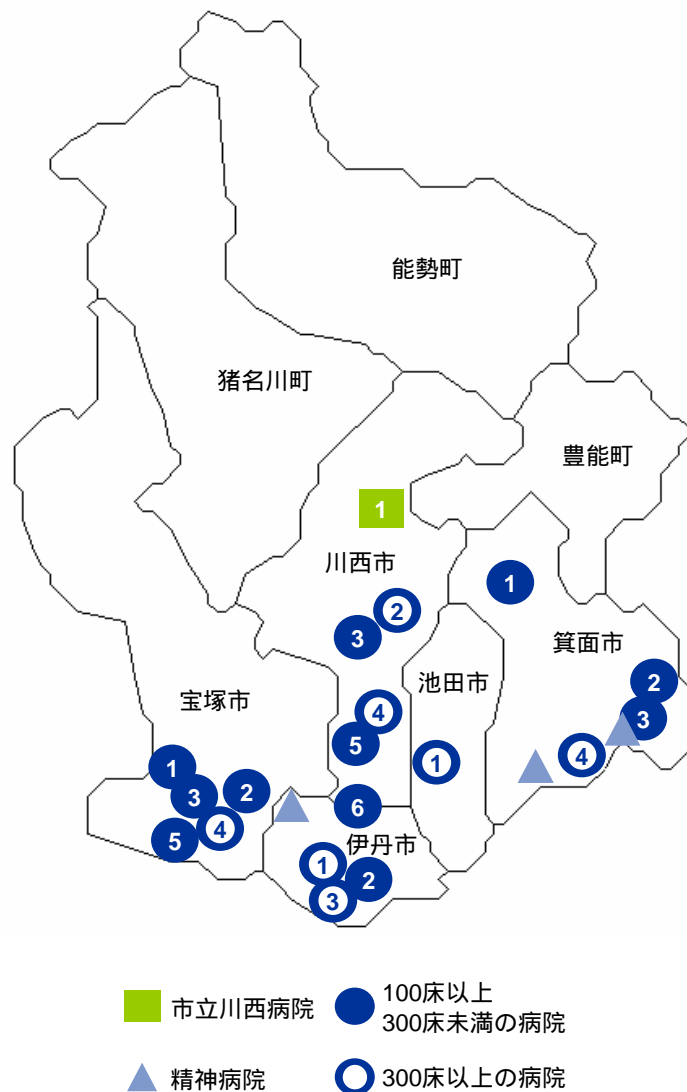
出所：S30～H17：国勢調査、H20：川西市ホームページ、H24：市政策室推計

出所：平成17年度 国勢調査

川西市の年齢別人口の推移は、65歳以上の老年人口の割合が増加している。

- S40年度以降から、65歳以上の老年人口比率は増加し続けている。
- 川西市はH17年度から、65歳以上の老年人口が全国平均を上回っている。

川西市に隣接する市町村の病院は、地域の南部エリアに集中している。



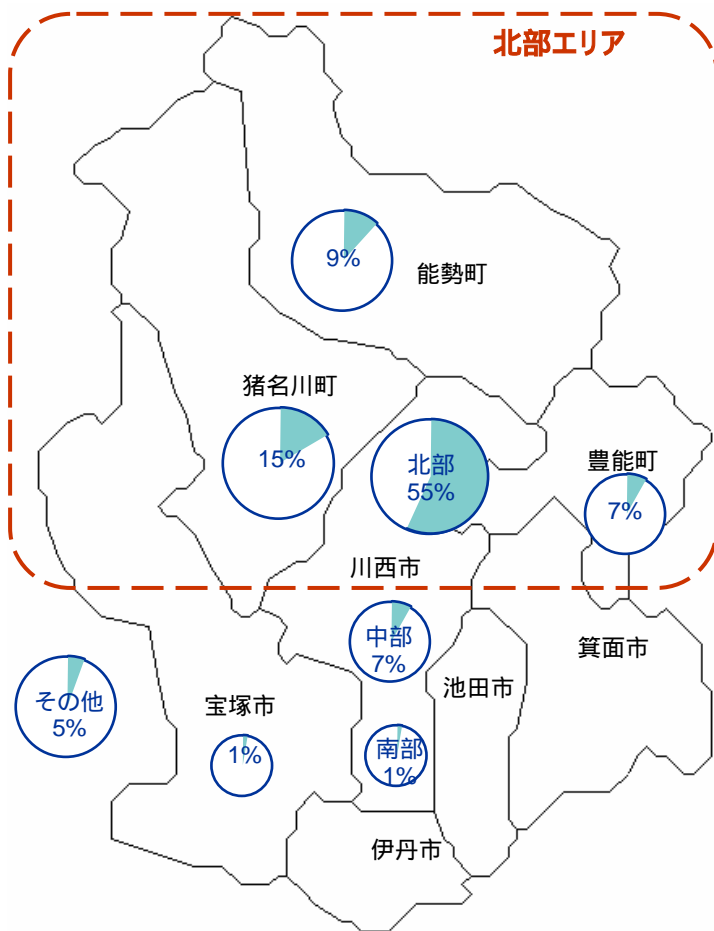
川西市		一般	療養	その他	合計
1	市立川西病院	283			283
2	協立温泉病院	112	353		465
3	ペリタス病院	199			199
4	協立病院	313			313
5	第二協立病院	124	101		225
6	自衛隊阪神病院	176		精24	200
宝塚市		一般	療養	その他	合計
1	こだま病院	55	55		110
2	東宝塚さとう病院	114	52		166
3	宝塚第一病院	211			211
4	宝塚市立病院	480			480
5	宝塚病院	131			131
伊丹市		一般	療養	その他	合計
1	伊丹病院	414			414
2	常岡病院		103		103
3	近畿中央病院	453			453
池田市		一般	療養	その他	合計
1	市立池田病院	364			364
箕面市		一般	療養	その他	合計
1	照葉の里箕面病院		120		120
2	ガラシア病院	69	46		115
3	マックシール巽今宮病院	70	40		110
4	箕面市立病院	317			317

(単位:床)

川西市北部、猪名川町、能勢町、豊能町を北部エリア、それ以外を南部エリアと定義

出所:2008年版 近畿病院情報

市立川西病院における退院患者の86%は、北部エリア(川西市北部・猪名川町・能勢町・豊能町)からの患者である。



退院患者数とその割合

	合計(人)	診療圏別 退院患者数比率
川西市北部	2335	55%
猪名川町	674	15%
能勢町	413	9%
豊能町	287	7%
中部	313	7%
南部	48	1%
宝塚市	50	1%
その他	243	5%
合計	4363	100%

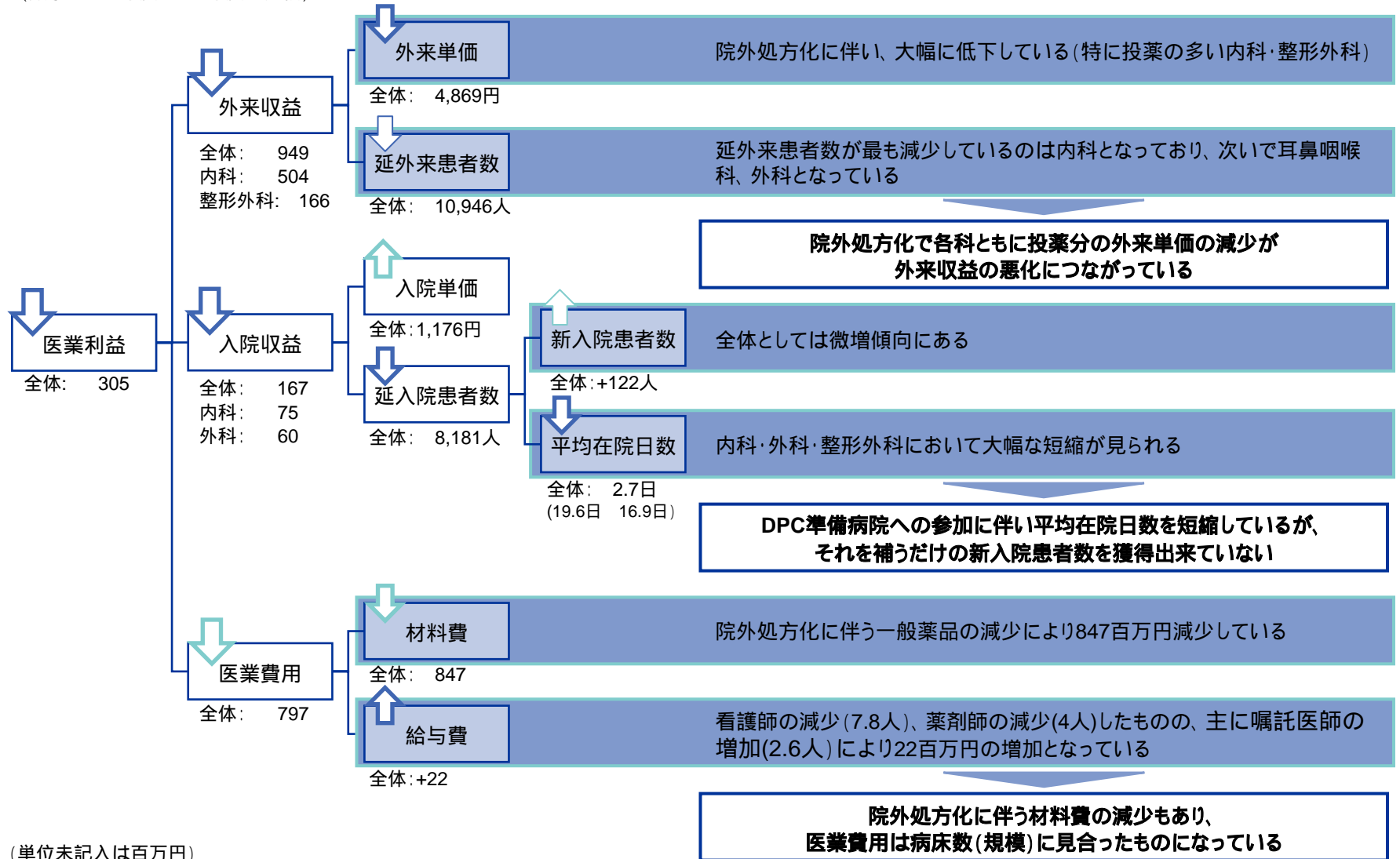
出所：市立川西病院 平成18年度病院年報

%は市立川西病院の総退院患者数に占める割合を記載している。

3. 財務分析

院外処方化に伴う外来単価の低下による外来収益の減少、またDPC準備病院への参加に伴う平均在院日数短縮による入院収益の減少により医業収益が減少し、医業損失も拡大している。

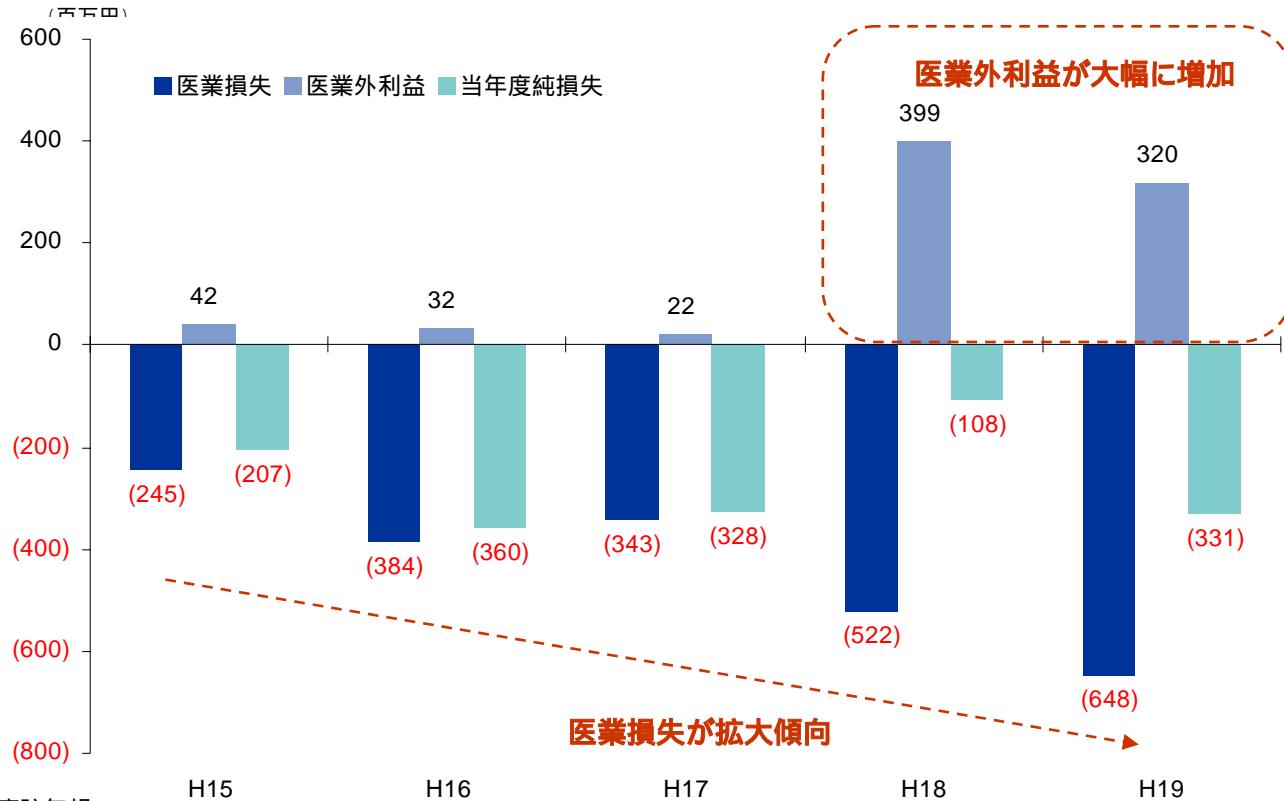
(数字はH17年度とH19年度の比較)



(単位未記入は百万円)

医業外利益が大幅に増益となったにも関わらず、医業損失が拡大傾向にあるため、当年度純損失は赤字で推移している。

当年度純損益、医業損失、医業外利益の推移

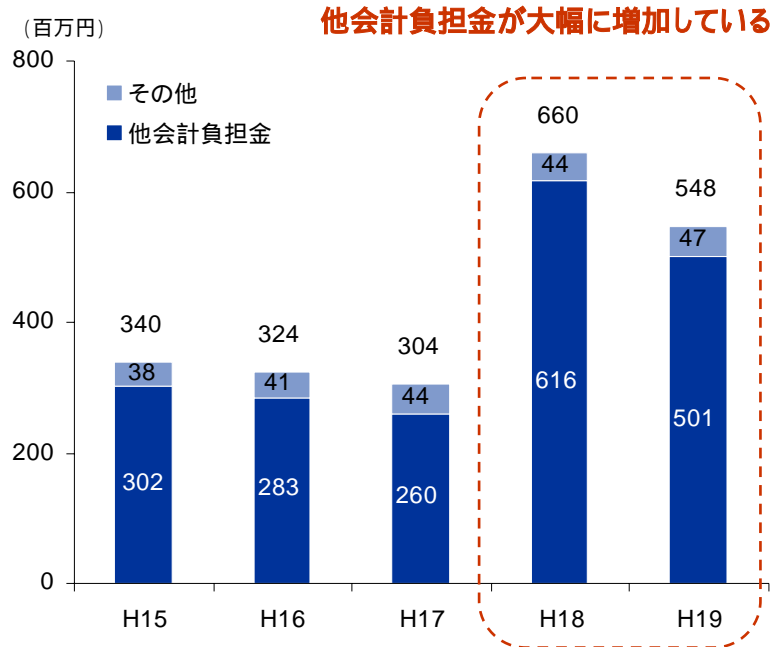


出所: 市立川西病院 病院年報

- 医業外利益はH18年度に、前年と比較して377百万円の大増益となっている。
- 医業損失は拡大傾向で推移している。

医業外利益の増加は、H18年度の他会計負担金の増加、特に小児医療経費補助金、産婦人科医療確保経費補助金の増加に起因している。

医業外収益の推移



出所: 市立川西病院 病院年報

- 医業外利益は、H18年度に他会計負担金が大幅に増額となった(356百万円増)ことで大幅に増加している。

過去3年間の他会計負担金の推移

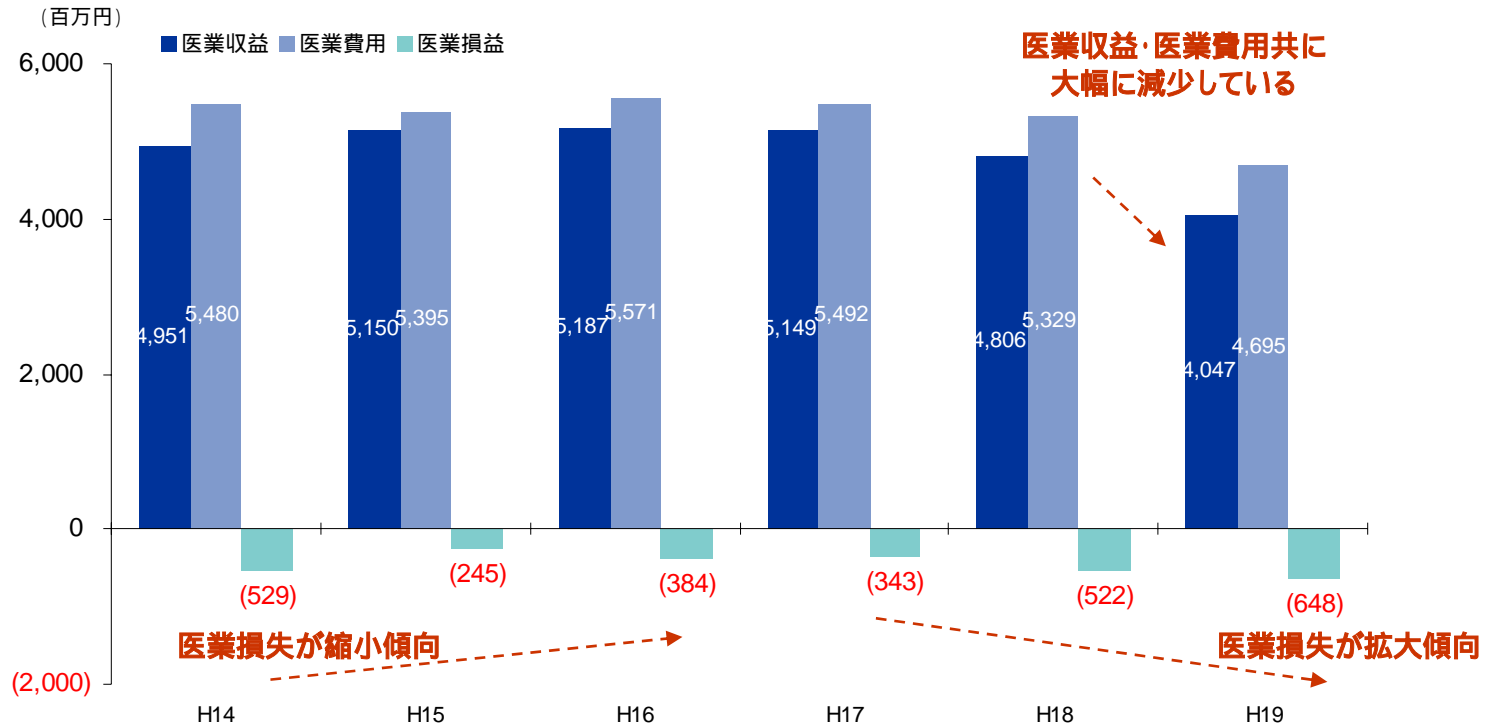
(単位:千円)

	H17	H18	H19
医業収入	116,200	143,505	149,134
救急医療態勢負担金	110,000	126,000	130,000
医療相談等の経費負担金	6,200	17,505	19,134
医業外収益	259,890	616,133	500,651
看護師養成経費負担金	12,284	12,746	14,448
企業債利息補助金	88,812	79,926	70,370
医師等の研究研修費補助金	3,000	3,000	3,000
准看護師養成に伴う実習運営経費補助金	5,400	5,400	5,400
基礎年金拠出金の公的負担経費補助金	37,782	38,448	42,854
高度医療経費補助金	40,000	40,000	30,000
リハビリテーション医療経費補助金	13,000	10,000	10,000
院内保育園運営経費補助金	7,700	7,700	7,700
兵庫県市町村共済組合追加費用経費補助金	51,912	48,913	46,879
小児医療経費補助金	0	150,000	140,000
産婦人科医療確保経費補助金	0	220,000	130,000
資本的収入	206,733	225,290	242,489
建設改良費補助金	20,000	20,000	20,000
企業債償還金補助金	186,733	205,290	222,489
合計	582,823	984,928	892,274

- 医業外収益における他会計負担金の増加は、H18年度より支給された小児医療経費補助金、産婦人科医療確保経費補助金に起因している。
- 他会計負担金は全て川西市からの負担金・補助金であり、H19年度は合計892,274千円となっている。

H17年度以降を見ると医業収益、医業費用共に減少傾向にあるが、医業収益の減少額が医業費用の減少額よりも大きいいため、医業損失が拡大傾向となっている。

医業収益、医業費用、医業損益の推移

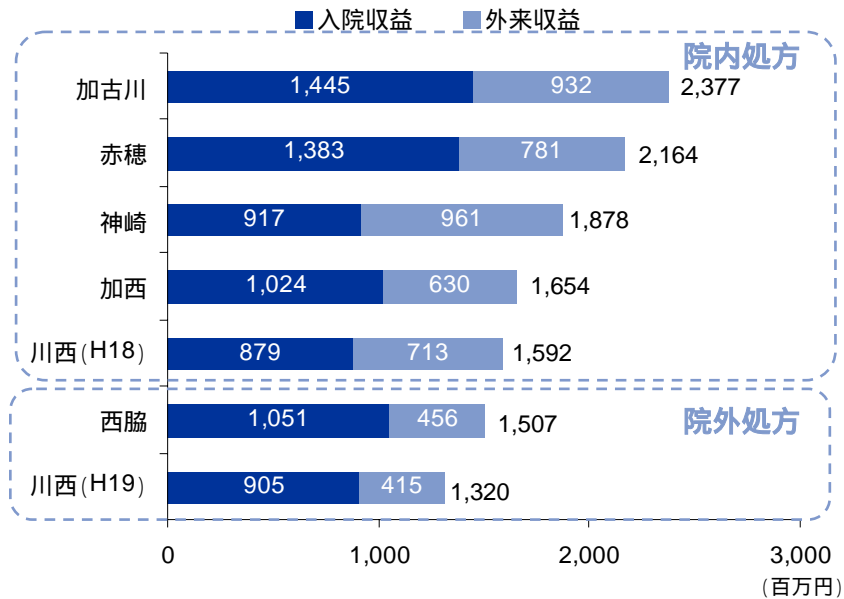


出所: 市立川西病院 病院年報

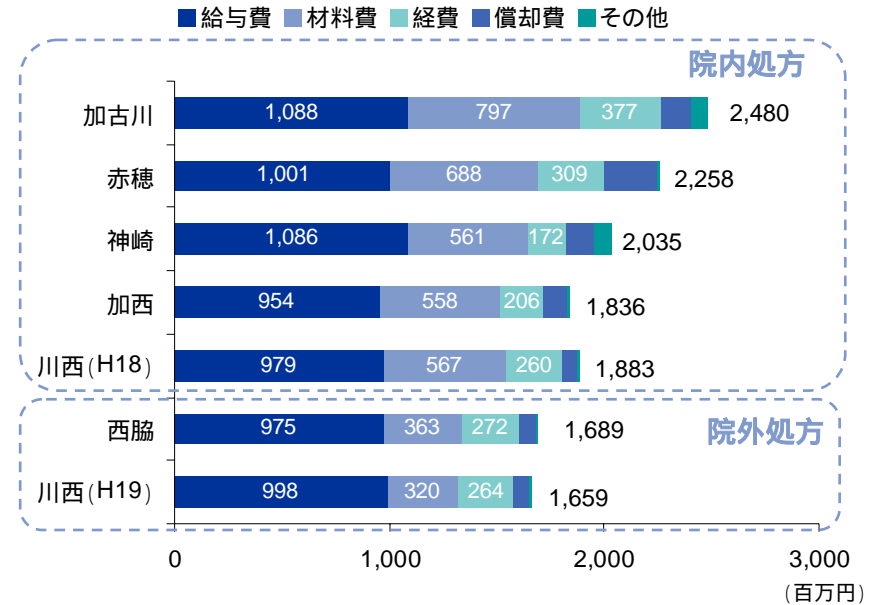
- H19年度は院外処方を実施した影響もあり、医業収益、医業費用ともに大幅に減少している。
- 医業収益、医業費用共に減少しているが、医業収益の減少の方が医業費用の減少よりも大きく、医業損失が膨らんでいる状況にある。

市立川西病院は、医業収益、特に入院収益が比較病院と比べて低い水準となっている。

100床あたり医業収益(入院・外来)の比較



100床あたり医業費用の比較



- 院内処方であったH18年度でベンチマークと比較すると、100床あたり約1億円から8億円程度、川西市民病院の収益水準が低い。
- 院外処方となったH19年度を院外処方の西脇市立西脇病院と比較すると187百万円程度川西市民病院の収益水準が低い。

■ ベンチマークは以下の考え方で選定している。(ベンチマークの数字は全てH18年度)

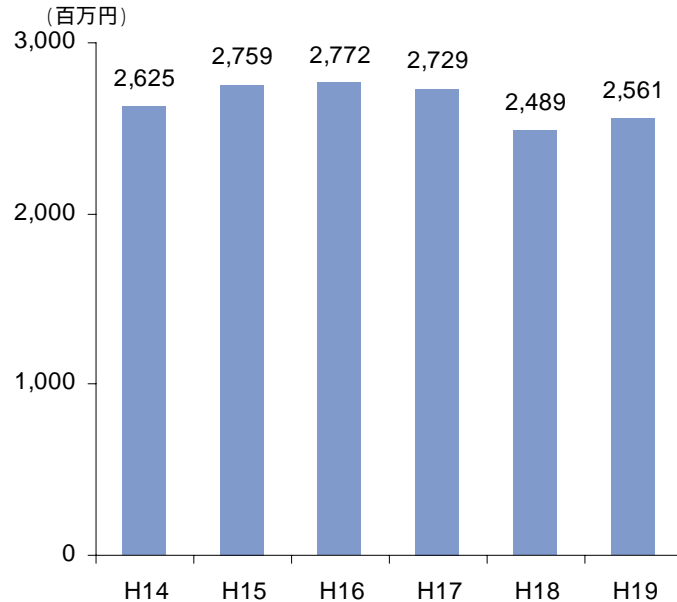
－ 兵庫県と川西市に隣接する大阪府の公立病院の中で、医業利益率が黒字の病院、もしくは市立川西病院と同程度の病床数(320床未満)の病院を選定している。

■ 各病院の正式名称は以下の通り: 公立神崎総合病院(神崎)、加西市民病院(加西)、西脇市立西脇病院(西脇)、赤穂市民病院(赤穂)、加古川市民病院(加古川)

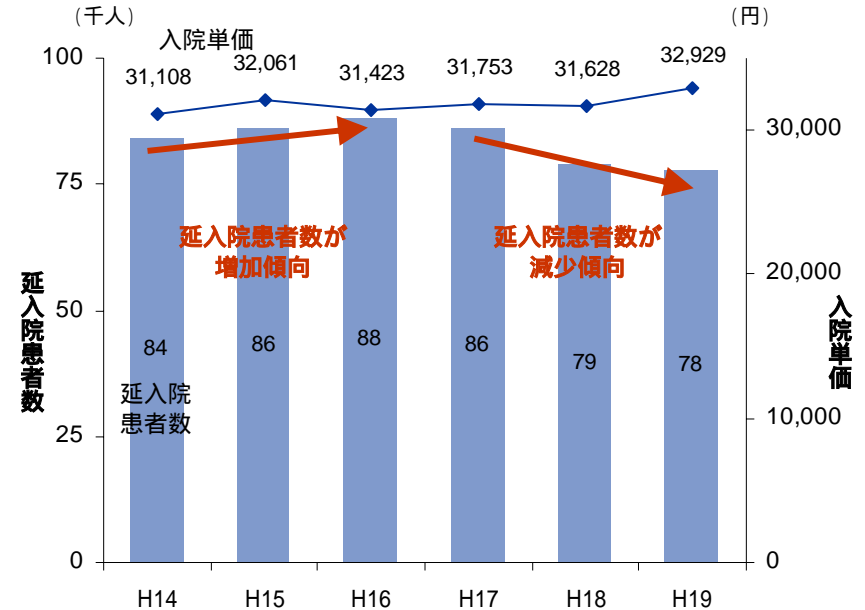
出所: 市立川西病院 病院年報、平成18年度病院事業経営状況調査集計表

入院単価は上昇傾向にあるものの、延入院患者数がH18年度に大幅に減少し、入院収益の悪化を招いている。

入院収益の推移



入院単価・延入院患者数の推移

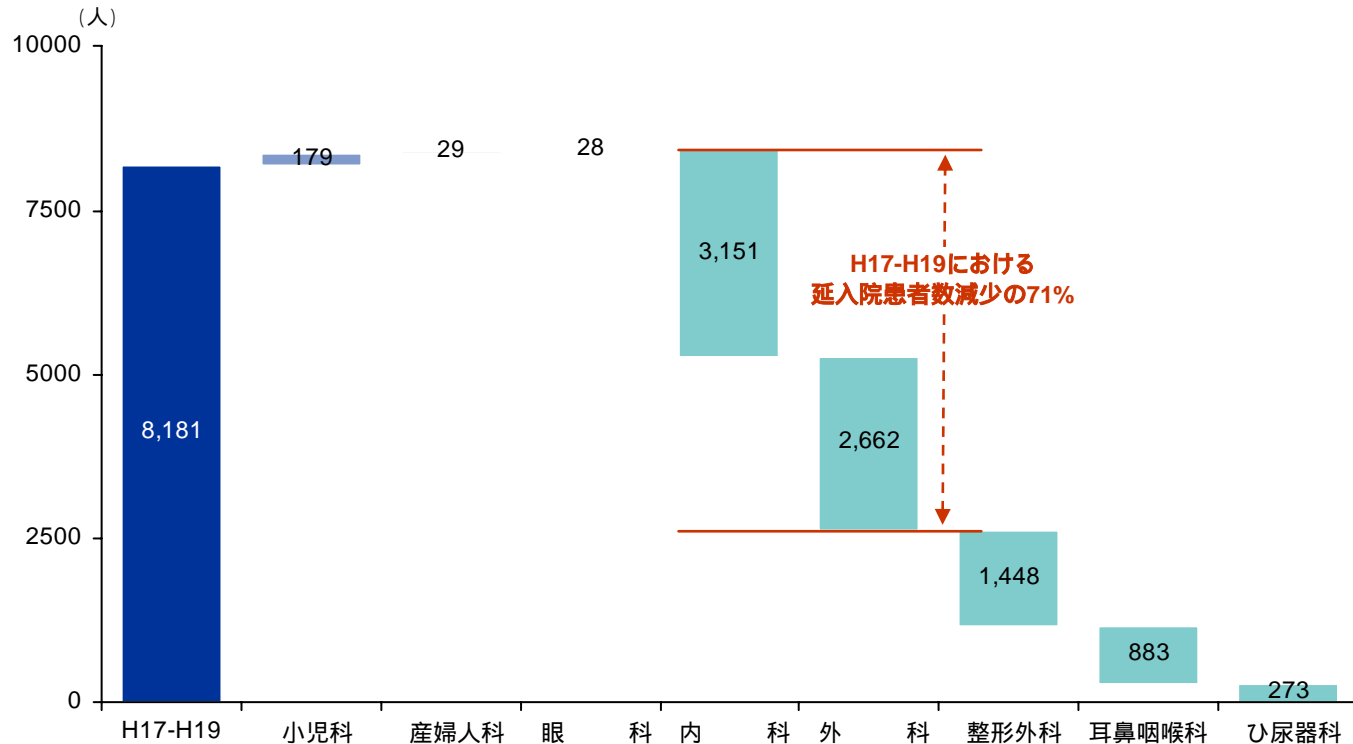


- 入院収益はH18年度に前年と比較して240百万円の減少となり、H19年度も大きな改善は見られない。

- 入院単価は堅調に推移しているものの、延べ入院患者数がH18年度に大幅に減少している。

直近3年について各科別に延入院患者数の推移を見ると小児科・産婦人科・眼科で微増しているものの、それ以外の診療科は全て減少しており、特に内科・外科で大幅な減少が見られる。

H17年度からH19年度における診療科別延入院患者数の推移

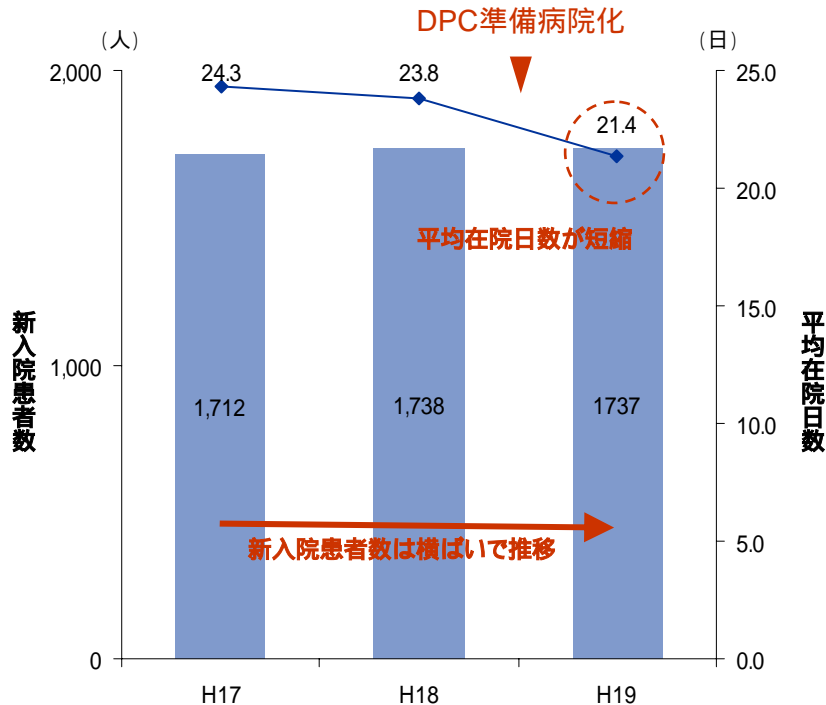


- H17年度とH19年度を比較すると延入院患者数は8,181人減少しているが、そのうち71%にあたる5,813人が内科・外科における減少となっている。

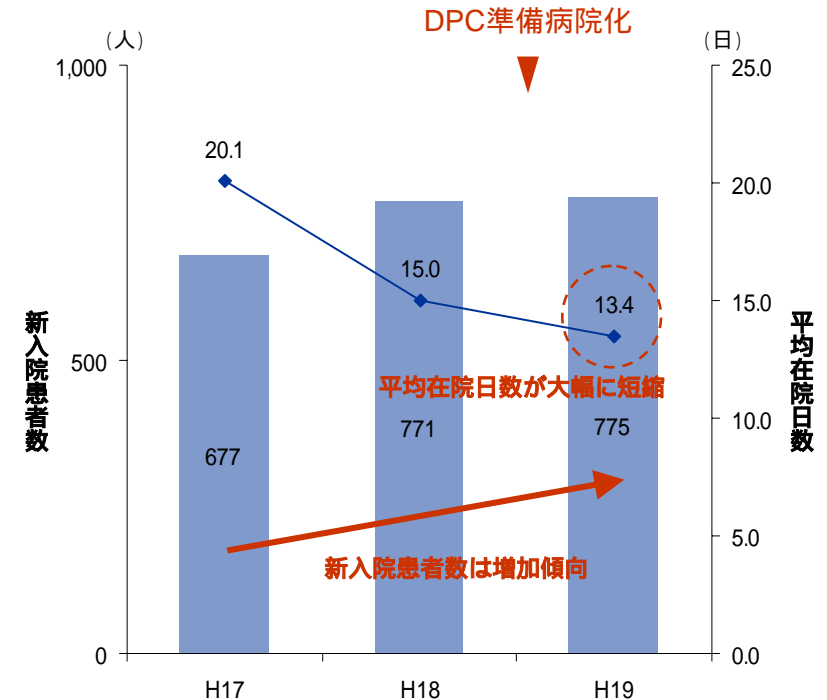
出所: 市立川西病院 病院年報

内科、外科において延入院患者数が減少した要因は、DPC準備病院化(H19年度)に伴う平均在院日数の短縮、またはそれを補うだけの新入院患者を獲得できていないことにある。

内科の新入院患者数と平均在院日数の推移



外科の新入院患者数と平均在院日数の推移



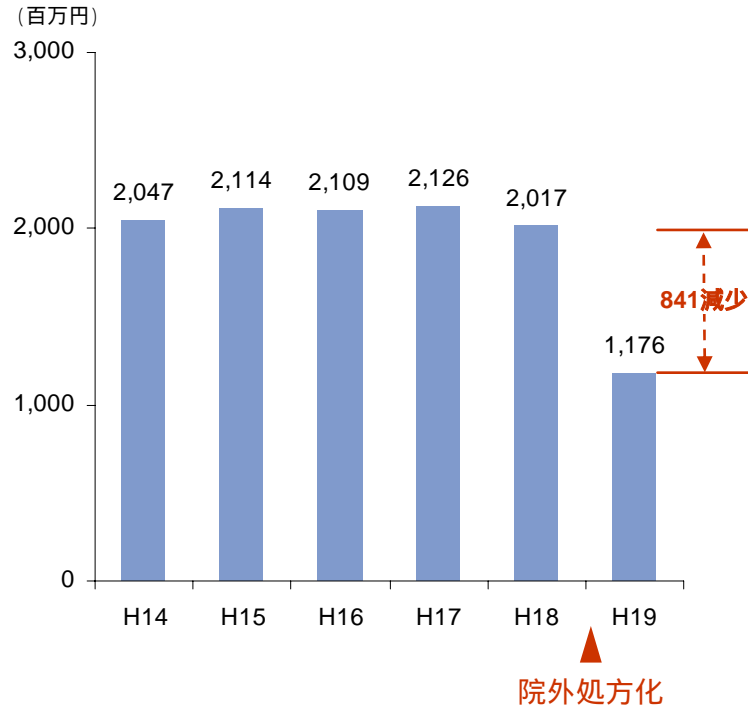
- 内科の新入院患者数はほぼ横ばいで推移しているが、平均在院日数が短縮され延入院患者数が減少した。

出所: 市立川西病院 病院年報

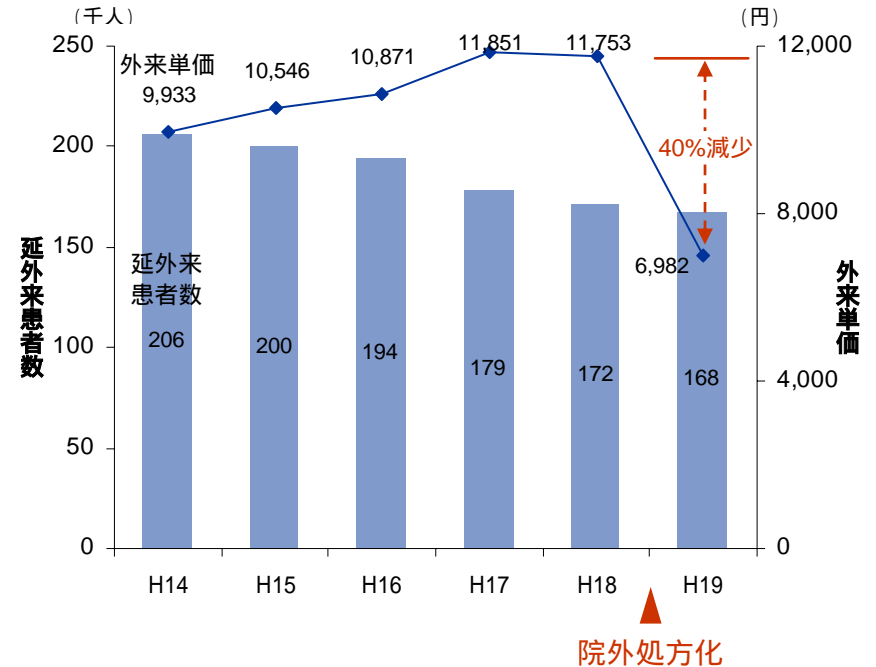
- 外科の新入院患者数は増加傾向にあるが、平均在院日数で大幅な短縮が行われているため延入院患者数が減少したと考えられる。

H19年度の医業収益の減少は、H19年度の院外処方化に伴い外来単価が大幅に低下したことで外来収益が減少したことに起因している。

外来収益の推移



外来単価と延外来患者数の推移



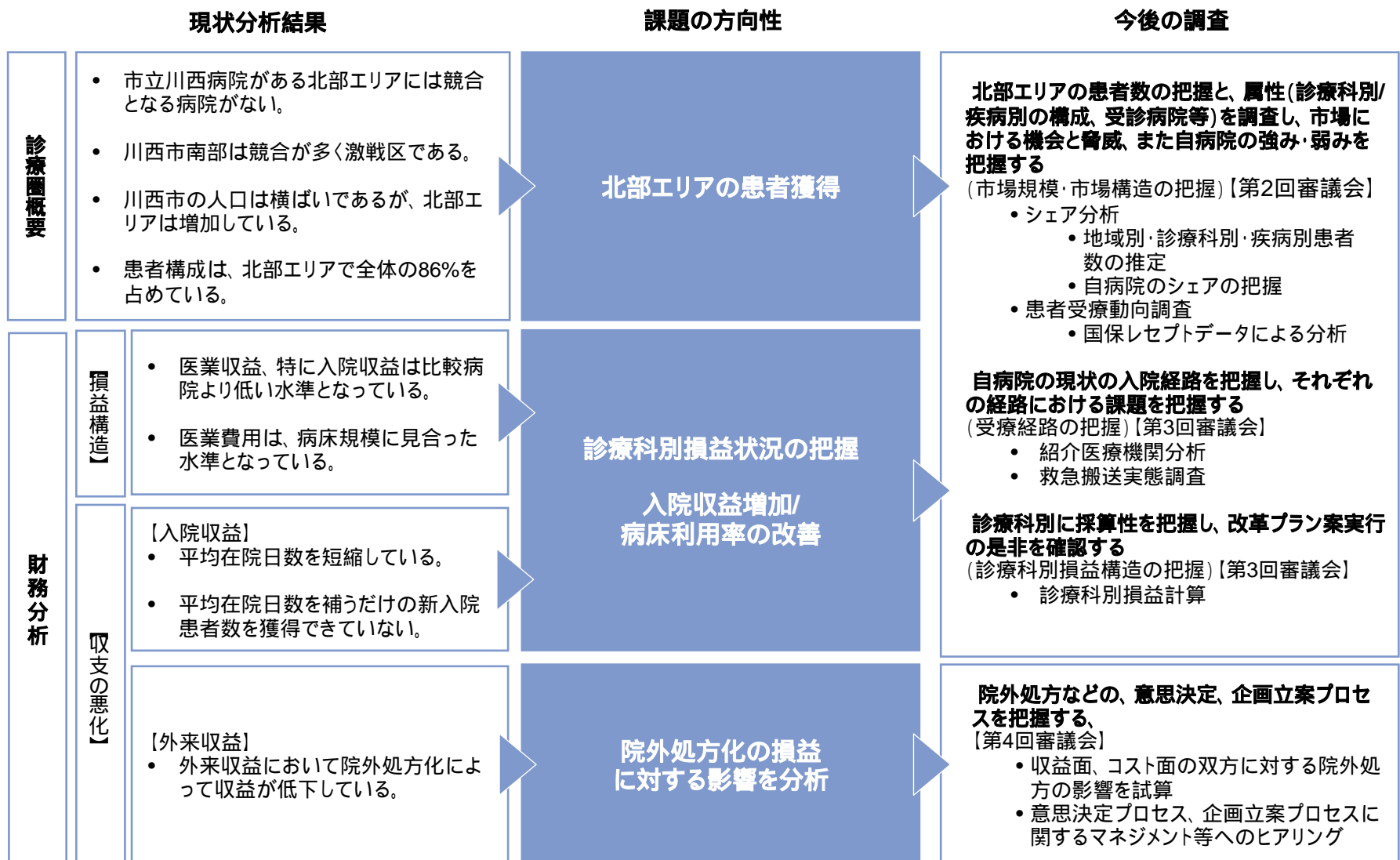
- 外来収益は、H19年度において841百万円減少し1,176百万円となっている。

- 外来単価はH18年度からH19年度にかけて4,771円と40%程度低下している。
- 延外来患者数は減少傾向にある。
- H16年度からH17年度の延外来患者数減少は、産婦人科医の減員による産婦人科延外来患者減少に起因する。

出所: 市立川西病院 病院年報

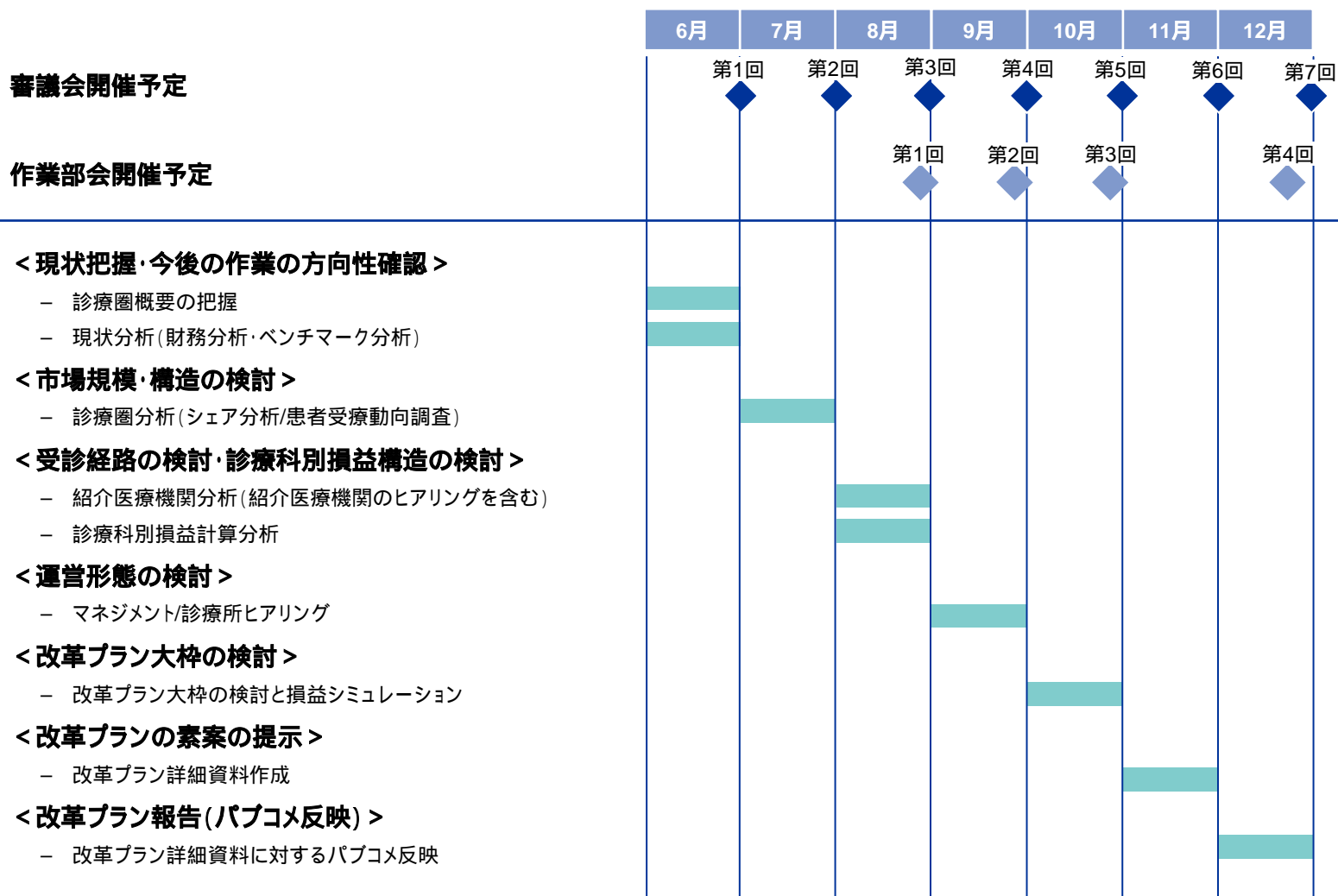
4. サマリーと今後の予定

現状分析結果と課題の方向性、及びそれに伴う今後の調査概要



今後の予定(概要)

今後の予定(概要)



第1回審議会資料(資料編)

2008年6月26日

目次

1. 「診療圏概要」に関する資料	3
<hr/>	
2. 「財務分析」に関する資料	8
<hr/>	
3. ベンチマーク分析	21

1. 「診療圏概要」に関する資料

【診療圏概要】兵庫県の二次診療圏概要

兵庫県の二次診療圏概要

圏域	圏域構成市町	人口(人)	A基準病床数 (H18.4.1～)	B既存病床数 (H19.10.1～)	C病床数の 過不足 (C=B-A)
神戸	神戸市	1,530,168	13,202	14,914	1,712
阪神南	尼崎市、西宮市、芦屋市	1,029,776	8,650	8,602	(48)
阪神北	伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町	717,752	6,580	6,597	17
東播磨	明石市、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町	718,408	5,900	6,303	403
北播磨	西脇市、三木市、小野市、加西市、加東市、多可町	288,364	3,373	3,310	(63)
中播磨	姫路市、福崎町、市川町、神河町	583,493	5,247	5,602	355
西播磨	相生市、たつの市、赤穂市、宍粟市、太子町、上郡町、佐用町	277,475	2,988	2,974	(14)
但馬	豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町	187,246	1,941	1,706	(235)
丹波	篠山市、丹波市	113,781	1,324	1,324	0
淡路	洲本市、南あわじ市、淡路市	147,786	1,644	1,705	61

出所：兵庫県「平成20年度 兵庫県保険医療計画」

【診療圏概要】

近隣診療圏における病院の診療概要(宝塚市・三田市)

病院略称	病床数				内	循	呼	消	胃	小	外	脳	心	呼	形	小	美	泌	皮	整	気	産	婦	婦	眼	歯	口	耳	咽	麻	放	リ	リ	ア	肛	精	神	神	心	救
	合計	一般	療養	他																																				
宝塚市																																								
安倉病院	90	90																																						
こだま病院	110	55	55	亜急性期8、開放病床5																																				
宝塚病院	131	131		透析センター39床																																				
宝塚市立病院	480	480		亜急性期18、人工透析室12																																				
宝塚第一病院	211	211		亜急性期10、開放病床5																																				
東宝塚さとう病院	166	114	52																																					
三田市																																								
あいの病院	145	145		老人性認知症治療116床、通所リハ																																				
さくら療育園	300	300		特殊疾患入院施設100床、通所リハ																																				
三田温泉病院	180	180		介60、医120、通所リハ																																				
三田高原病院	360	360		介360、通所リハ																																				
三田市民病院	300	300		人工透析室11床																																				
宝塚三田病院	681	681		精神応急入院1、精神急性期46、精神療養150、老人性認知症治療50																																				
津田病院	200	200		精神療養56、老人性認知症治療54																																				
兵庫中央病院	574	574		亜急性期8、障害者施設(神経難病151床・重症心身障害40床)、特殊疾患療養(筋ジス86床)																																				
平島病院	210	210		介42、医60、通所リハ																																				

出所:株式会社 医事日報「2008年版 近畿病院情報」

2. 「財務分析」に関する資料

比較損益計算書(H15-H19)

比較損益計算書(単位:百万円)

	H15	H16	H17	H18	H19	- 増減	5期 増減率
医業収益	5,150	5,187	5,149	4,806	4,047	(759)	-5.8%
入院診療収益	2,759	2,772	2,729	2,489	2,560	71	-1.9%
外来診療収益	2,114	2,109	2,126	2,017	1,176	(841)	-13.6%
他会計負担金	113	118	116	144	149	5	7.2%
室料差額	85	100	98	82	85	3	0.0%
その他の医業収益	79	88	80	74	77	3	-0.6%
医業費用	5395	5,571	5,492	5,329	4,695	(634)	-3.4%
材料費	1,665	1,771	1,754	1,604	907	(697)	-14.1%
	32%	34%	34%	33%	22%		-8.8%
給与費	2,803	2,882	2,801	2,770	2,823	53	0.2%
	54%	56%	54%	58%	70%		6.4%
委託費	415	411	427	442	458	16	2.5%
	8%	8%	8%	9%	11%		8.9%
その他経費等	311	315	306	309	302	(7)	-0.7%
	6%	6%	6%	6%	7%		5.4%
減価償却費	201	192	204	204	205	1	0.5%
	4%	4%	4%	4%	5%		6.7%
医業損益	(245)	(384)	(343)	(523)	(648)	(125)	27.5%
医業利益率	-5%	-7%	-7%	-11%	-16%		35.4%
医業外収益	340	324	304	660	548	(112)	12.7%
他会計負担金	302	283	260	616	501	(115)	13.5%
その他	38	41	44	44	47	3	5.5%
医業外費用	298	292	282	261	228	(33)	-6.5%
経常損益	(203)	(352)	(321)	(124)	(328)	(204)	12.7%
経常利益率	-4%	-7%	-6%	-3%	-8%		19.7%

【医業収益】診療科別医業収益の推移

診療科別医業収益の推移(単位:百万円)

	H14	H15	H16	H17	H18	H19
内科	1,581	1,757	1,889	2,035	1,931	1,456
外科	822	775	747	751	681	604
整形外科	807	812	845	876	814	694
小児科	183	209	192	200	188	171
産婦人科	520	506	440	237	176	264
耳鼻咽喉科	108	172	201	168	165	97
眼科	243	249	246	245	235	196
泌尿器科	408	392	322	342	317	255
合計	4,672	4,873	4,881	4,855	4,506	3,737

【医業収益】診療科別入院収益/外来収益の推移

診療科別入院収益の推移(単位:百万円)

	H14	H15	H16	H17	H18	H19
内科	775	890	992	1,093	1,081	1,018
外科	541	510	476	492	425	432
整形外科	526	488	510	524	453	508
小児科	111	143	110	103	88	111
産婦人科	397	387	330	166	105	189
耳鼻咽喉科	32	75	98	76	76	41
眼科	127	128	125	124	121	122
泌尿器科	117	139	132	151	140	141
合計	2,625	2,759	2,772	2,729	2,489	2,561

診療科別外来収益の推移(単位:百万円)

	H14	H15	H16	H17	H18	H19
内科	806	867	897	942	851	438
外科	281	265	270	259	256	172
整形外科	280	324	335	352	361	186
小児科	72	67	82	97	100	60
産婦人科	123	120	110	71	71	75
耳鼻咽喉科	76	97	104	92	89	56
眼科	116	121	121	121	114	75
泌尿器科	291	253	190	191	177	114
合計	2,047	2,114	2,109	2,126	2,017	1,176

【入院収益】診療科別延入院患者数/入院単価の推移

診療科別延入院患者数の推移(単位:人)

	H14	H15	H16	H17	H18	H19
内科	31,402	33,682	37,257	40,250	39,584	37,099
外科	14,724	13,795	13,047	13,048	10,856	10,386
整形外科	17,696	16,763	17,748	16,927	13,943	15,479
小児科	3,722	4,179	3,381	3,016	2,791	3,195
産婦人科	9,727	8,669	7,762	3,728	2,616	3757
耳鼻咽喉科	1,082	2,346	2,596	1,941	1,981	1,058
眼科	2,686	2,716	2,746	2,630	2,620	2,658
泌尿器科	3,340	3,913	3,675	4,409	4,301	4,136
合計	84,379	86,063	88,212	85,949	78,692	77,768

診療科別入院単価の推移(単位:円)

	H14	H15	H16	H17	H18	H19
内科	24,665	26,428	26,623	27,150	27,305	27,430
外科	36,718	36,943	36,498	37,682	39,148	41,571
整形外科	29,751	29,130	28,734	30,985	32,486	32,830
小児科	29,763	34,125	32,575	34,147	31,383	34,708
産婦人科	40,859	44,608	42,453	44,491	40,283	50,352
耳鼻咽喉科	29,171	32,038	37,595	39,305	38,463	38,436
眼科	47,164	47,070	45,384	47,045	46,268	45,765
泌尿器科	34,953	35,498	35,913	34,333	32,484	34,062
全体	31,108	32,061	31,423	31,753	31,628	32,929

【入院収益】診療科別病床利用率/総病床数の推移

診療科別病床利用率の推移

	H14	H15	H16	H17	H18	H19
内科	84.4%	86.0%	95.4%	100.9%	97.7%	91.3%
外科	96.7%	87.6%	83.1%	83.1%	69.2%	66.0%
整形外科	98.0%	88.1%	93.5%	89.2%	73.5%	81.3%
小児科	32.9%	40.8%	42.1%	37.6%	36.7%	43.6%
産婦人科	76.1%	76.4%	68.6%	41.5%	35.8%	51.3%
耳鼻咽喉科	42.3%	91.5%	101.6%	60.8%	54.3%	28.9%
眼科	92.0%	92.7%	94.0%	78.6%	64.3%	60.5%
泌尿器科	91.5%	106.9%	100.7%	108.2%	98.2%	94.2%
全体	81.7%	83.5%	85.9%	83.7%	76.6%	75.9%

診療科別総病床数の推移(単位:床)

	H14	H15	H16	H17	H18	H19
内科	103.0	107.0	107.0	109.0	111.0	
外科	39.0	43.0	43.0	43.0	43.0	
整形外科	49.0	52.0	52.0	52.0	52.0	
小児科	32.0	22.0	22.0	22.0	21.0	
産婦人科	35.0	31.0	31.0	25.5	20.0	
耳鼻咽喉科	7.0	7.0	7.0	8.5	10.0	
眼科	8.0	8.0	8.0	9.0	11.0	
泌尿器科	10.0	10.0	10.0	11.0	12.0	
合計	283.0	283.0	283.0	283.0	283.0	

出所: 市立川西病院 病院年報

【入院収益】診療科別新入院患者数/平均在院日数の推移

診療科別新入院患者数の推移(単位:人)

	H14	H15	H16	H17	H18	H19
内科	1,548	1,656	1,701	1,712	1,738	1737
外科	769	836	733	677	771	775
整形外科	476	449	475	476	415	473
小児科	335	458	410	444	407	416
産婦人科	925	866	751	384	292	454
耳鼻咽喉科	113	272	265	203	215	134
眼科	302	311	283	281	277	294
泌尿器科	265	291	300	316	307	332
全体	4,733	5,139	4,918	4,493	4,422	4615

診療科別平均在院日数の推移(単位:日)

	H14	H15	H16	H17	H18	H19
内科	20.5	19.7	22.4	24.3	23.8	21.4
外科	17.9	17	18.1	20.1	15	13.4
整形外科	36.8	36.6	36.7	38.5	32.9	33.1
小児科	11.5	7.4	6.7	6.4	6.6	7.7
産婦人科	10.5	10	10.2	9.6	8.8	8.3
耳鼻咽喉科	9.6	8.7	9.7	9.8	9.6	7.8
眼科	8.9	8.8	10.4	9.5	9.6	9
泌尿器科	12.6	12.8	13	14	14.6	12.4
全体	17.8	16.1	17.7	19.6	18.2	16.9

【外来収益】診療科別延外来患者数/外来単価の推移

診療科別延外来患者数の推移(単位:人)

	H14	H15	H16	H17	H18	H19
内科	67,588	66,076	64,859	62,035	58,708	58,305
外科	21,630	19,094	19,343	17,572	16,190	15,348
整形外科	40,369	41,625	41,596	40,579	41,187	39,883
小児科	8,932	7,950	8,227	8,818	9,221	8,781
産婦人科	15,749	17,708	16,479	10,299	9,114	10,473
耳鼻咽喉科	13,841	14,380	14,822	12,705	10,949	9,009
眼科	17,991	16,986	16,531	15,532	14,420	13,966
泌尿器科	19,946	16,599	12,175	11,817	11,868	12,646
全体	206,046	200,418	194,032	179,357	171,657	168,411

診療科別外来単価の推移(単位:円)

	H14	H15	H16	H17	H18	H19
内科	11,932	13,117	13,826	15,192	14,487	7,517
外科	13,000	13,893	13,978	14,752	15,797	11,208
整形外科	6,948	7,783	8,059	8,672	8,756	4,663
小児科	8,107	8,390	9,977	11,019	10,887	6,854
産婦人科	7,783	6,750	6,699	6,913	7,747	7,138
耳鼻咽喉科	5,505	6,732	6,997	7,219	8,103	6,216
眼科	6,456	7,147	7,338	7,813	7,889	5,347
泌尿器科	14,601	15,257	15,571	16,126	14,922	9,006
全体	9,933	10,546	10,871	11,851	11,753	6,982

出所: 市立川西病院 病院年報

【外来収益】診療科別初診患者数/再診患者数の推移

診療科別初診患者数の推移(単位:人)

	H14	H15	H16	H17	H18	H19
内科	7,198	6,206	6,539	6,764	6,704	6,401
外科	2,945	2,050	2,025	1,852	1,635	1,601
整形外科	4,825	3,575	3,616	3,355	3,317	3,226
小児科	2,911	2,568	2,768	3,009	2,191	2,833
産婦人科	2,865	2,021	1,593	1,142	1,395	1,230
耳鼻咽喉科	2,767	1,964	2,345	2,146	2,163	1,897
眼科	2,636	1,805	1,284	1,114	1,221	1,219
泌尿器科	1,589	940	702	656	692	675
合計	27,736	21,129	20,872	20,038	19,318	19,082

診療科別再診患者数の推移(単位:人)

	H14	H15	H16	H17	H18	H19
内科	60,390	59,870	58,320	55,271	52,004	51,904
外科	18,685	17,044	17,318	15,720	14,555	13,747
整形外科	35,544	38,050	37,980	37,224	37,870	36,657
小児科	6,021	5,382	5,459	5,809	7,030	5,948
産婦人科	12,884	15,687	14,886	9,157	7,719	9,243
耳鼻咽喉科	11,074	12,416	12,477	10,559	8,786	7,112
眼科	15,355	15,181	15,247	14,418	13,199	12,747
泌尿器科	18,357	15,659	11,473	11,161	11,176	11,971
合計	178,310	179,289	173,160	159,319	152,339	149,329

出所: 市立川西病院 病院年報

【医業費用】医業費用/医業収益対費用比率の推移

医業費用の推移(単位:百万円)

	H15	H16	H17	H18	H19	- 増減	5期 増減率
材料費	1,665	1,771	1,754	1,604	907	(697)	-14.1%
給与費	2,803	2,882	2,801	2,770	2,823	53	0.2%
委託料	415	411	427	442	458	16	2.5%
その他経費等	311	315	306	309	302	(7)	-0.7%
減価償却費	201	192	204	204	205	1	0.5%

医業収益対費用比率の推移

	H15	H16	H17	H18	H19
材料費	32%	34%	34%	33%	22%
給与費	54%	56%	54%	58%	70%
委託料	8%	8%	8%	9%	11%
その他経費等	6%	6%	6%	6%	7%
減価償却費	4%	4%	4%	4%	5%

【医業費用】材料費内訳/職種別給与費の推移

材料費内訳の推移(単位:百万円)

	H15	H16	H17	H18	H19
薬品費	1,308(78.6%)	1,383(78.3%)	1,354(77.3%)	1,256(78.4%)	526(58.0%)
診療材料費	297(17.8%)	318(18.0%)	340(19.4%)	300(18.7%)	337(37.2%)
給食材料費	59(3.5%)	66(3.7%)	58(3.3%)	46(2.9%)	44(4.9%)

職種別給与費の推移(単位:百万円)

	H15	H16	H17	H18	H19
医師	649	680	702	722	765
看護師	1,415	1,435	1,405	1,350	1,390
医療技術職員	383	406	405	409	392
事務員	185	188	147	149	147
技能労務士	148	147	118	117	109
その他	23	25	25	23	21

各職種は職員・臨時・非常勤の合計

出所: 川西市病院事業決算報告書等

【医業費用】職種別人員数/職種別一人あたり給与費の推移

職種別人員数の推移(単位:人)

	H15	H16	H17	H18	H19
医師	39.8	40	42.8	41.4	43.4
看護師	188.3	197.3	194.5	195.3	191.7
医療技術職員	50.8	50.4	51.3	51.9	50.9
事務員	25	25	24	20	20
技能労務士	23	23	22	22	20
その他	8.8	8.4	9.4	9.4	8.8

職種別一人あたり給与費の推移(単位:百万円)

	H15	H16	H17	H18	H19
医師	16.2	15.9	16.9	16.6	17.6
看護師	7.2	7.4	7.2	7.0	7.4
医療技術職員	7.6	7.9	7.8	8.0	8.0
事務員	7.4	7.8	7.4	7.4	7.2
技能労務士	6.4	6.7	5.4	5.9	5.7
その他	2.7	2.7	2.7	2.6	2.4

各職種は職員・臨時・非常勤の合計

出所: 川西市病院事業決算報告書等

【医業費用】委託料の推移

委託料の推移(単位:百万円)

	H15	H16	H17	H18	H19
委託料	415	411	427	442	458
医療業務及び電算保守委託料	-	-	139	141	139
院内清掃及び排出物処理委託料	-	-	41	42	42
施設管理委託料	-	-	45	45	44
臨床検査委託料	-	-	30	24	24
窓口事務及び電話交換業務委託料	-	-	96	99	106
院内設備及び医療機器保守点検委託料	-	-	35	49	55
寝具及びおしめ委託料	-	-	12	12	12
洗濯委託料	-	-	8	8	8
心電図解析委託料等	-	-	17	16	-
その他委託料	1	2	4	6	28

3. ベンチマーク分析

ベンチマーク比較(医業収益と医業外収益)

医業収益と医業外収益(単位:百万円)

病院名	病床数(床)							医業収益				医業外収益	
	一般	結核	精神	感染症	療養	計	実働病床数	合計	入院収益	外来収益	他会計補助金	他会計補助金	国庫補助金
川西(H18)	283					283	216	4,806	2,489	2,017	144	616	10
川西(H19)*	283					283	216	4,047	2,561	1,176	311	501	6
加古川	351			6		357	343	8,926	5,158	3,327	152	307	18
赤穂	376			4		380	340	8,634	5,254	2,966	38	256	1
西脇*	320					320	269	5,234	3,362	1,459	316	57	5
加西	300			6		306	253	5,340	3,132	1,928	140	265	18
神崎	155					155	131	3,144	1,421	1,490	39	137	0

100床あたり医業収益と医業外収益(単位:百万円)

病院名	病床数(床)							医業収益				医業外収益	
	一般	結核	精神	感染症	療養	計	実働病床数	合計	入院収益	外来収益	他会計補助金	他会計補助金	国庫補助金
川西(H18)	283					283	216	1,698	879	713	51	218	4
川西(H19)*	283					283	216	1,430	905	415	110	177	2
加古川	351			6		357	343	2,500	1,445	932	42	86	5
赤穂	376			4		380	340	2,272	1,383	781	10	67	0
西脇*	320					320	269	1,636	1,051	456	99	18	2
加西	300			6		306	253	1,745	1,024	630	46	86	6
神崎	155					155	131	2,028	917	961	25	88	0

出所: 市立川西病院 病院年報、平成18年度病院事業経営状況調査集計表

(病院名の後に*が記載されている病院は、院外処方を行っている。以下のページも同様)

ベンチマーク比較(延入院患者数)

100床あたり診療科別延入院患者数(単位:人)

	内科	外科	整形外科	小児科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	産婦人科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	歯科	その他	合計
川西(H18)	13,987	3,836	4,927	986	926	700	0	924	1,520	0	0	0	0	27,806
川西(H19)*	13,109	3,670	5,470	1,129	939	374	0	1,328	1,461	0	0	0	0	27,480
加古川	9,864	3,353	2,610	4,220	831	607	116	4,220	1,370	2,934	159	0	4,808	35,092
赤穂	2,667	2,250	5,413	815	258	502	94	2,055	1,552	1,896	0	292	14,907	32,701
西脇*	9,256	2,234	4,419	1,477	209	710	460	942	1,380	6,297	0	306	2,736	30,426
加西	16,143	2,569	3,871	381	225	323	374	267	262	0	424	0	918	25,756
神崎	12,114	5,532	11,765	169	239	0	0	886	0	0	0	0	62	30,766

100床あたり「その他」の内訳(単位:人)

	診療科名	延入院患者数
加古川	NICUベビー	4,568
	小児外科	239
赤穂	呼吸器科	3,477
	消化器科	6,595
	麻酔科	136
	循環器科	4,222
	形成外科	477
西脇	消化器科	1,442
	循環器科	1,293
加西	精神科	918
神崎	麻酔科	41

出所: 市立川西病院 病院年報、平成18年度病院事業経営状況調査集計表

ベンチマーク比較(入院単価)

診療行為別入院単価(単位:円)

	投薬	注射	処置手術	検査	X線	入院	給食	その他	計
川西(H18)	781	3,154	5,651	1,845	859	16,285	1,494	1,559	31,628
加古川	751	4,924	7,296	2,060	848	18,706	1,497	5,949	42,031
赤穂	136	3,192	10,844	2,902	1,343	19,745	1,706	1,413	42,281
西脇	743	3,388	7,587	1,520	1,226	15,715	2,820	1,537	34,536
加西	878	3,382	8,036	3,124	1,626	19,788	1,558	1,351	39,743
神崎	651	1,915	5,076	1,436	852	15,236	1,668	2,964	29,798

診療科別入院単価(単位:円)

	内科	外科	整形外科	小児科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	産婦人科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	歯科	その他	平均
川西(H18)	27,305	39,148	32,486	31,383	46,268	38,463		40,283	32,484					31,628
川西(H19)*	27,430	41,571	32,830	34,708	45,765	38,436		50,352	34,062					32,629
加古川	33,276	45,584	31,157	44,581	51,433	43,752	34,091	44,593	42,182	35,105	120,947		149,251	42,031
赤穂	37,715	43,709	32,708	34,025	49,141	42,456	27,295	41,252	41,711	45,933		41,125	209,774	42,281
西脇*	27,451	42,776	34,680	38,366	58,583	47,038	31,306	39,715	38,244	39,156		38,836	60,593	34,536
加西	42,019	43,716	29,937	41,839	46,188	40,837	32,256	42,804	35,842		47,735		26,705	39,743
神崎	27,276	34,370	28,298	31,947	42,587			52,223					26,048	29,798

出所: 市立川西病院 病院年報、平成18年度病院事業経営状況調査集計表

ベンチマーク比較(延外来患者数)

100床あたり診療科別延入院患者数(単位:人)

	内科	外科	整形外科 外科	小児科	眼科	耳鼻咽 喉科	皮膚科	産婦人 科	泌尿器 科	脳神経 外科	放射線 科	歯科	その他	合計
川西(H18)	20,745	5,721	14,554	3,258	5,095	3,869	0	3,220	4,194	0	0	0	0	60,656
川西(H19)*	20,602	5,423	14,093	3,103	4,935	3,183	0	3,701	4,469	0	0	0	0	59,509
加古川	20,010	3,944	5,461	13,401	4,995	3,301	3,488	6,447	3,179	3,381	542	0	5,223	73,372
赤穂	8,494	5,273	10,437	3,407	3,601	3,707	3,425	3,595	3,520	3,039	323	1,886	26,853	77,559
西脇*	9,581	3,172	5,532	2,894	1,877	2,326	7,851	1,928	4,236	4,363	230	2,391	10,968	57,349
加西	12,704	2,437	6,709	3,894	3,200	2,999	3,407	1,172	1,580	0	346	0	5,715	44,161
神崎	28,182	10,203	15,005	4,683	9,195	1,995	0	1,259	0	0	0	4,672	16,346	91,539

100床あたり「その他」の内訳(単位:人)

	診療科名	延入院患者数		診療科名	延入院患者数
加古川	精神神経科	3,773	赤穂	呼吸器科	5,260
	循環器科	642		消化器科	11,622
	小児外科	809		循環器科	7,189
西脇*	精神・神経科	3,760	麻酔科	1,519	
	リハビリ	1,034	形成外科	1,225	
	消化器科	2,541	心療内科	30	
	循環器科	3,633	精神科	8	
加西	神経内科	1,603	神崎	リハビリ科	12,090
	精神科	4,052		麻酔科	1,672
	麻酔科	60		神経・東洋医学科	2,584

出所: 市立川西病院 病院年報、平成18年度病院事業経営状況調査集計表

ベンチマーク比較(外来単価)

診療行為別外来単価(単位:円)

	初診再診	投薬	注射	処置手術	検査	X線	その他	計
川西(H18)	941	4,808	887	358	2,307	1,030	1,422	11,753
加古川	1,046	4,526	1,900	364	2,358	1,120	2,009	13,323
赤穂	812	2,516	876	1,181	1,905	1,260	1,244	9,794
西脇*	1,985	150	735	931	1,736	1,822	592	7,951
加西	2,777	6,626	540	263	2,363	1,602	381	14,552
神崎	823	3,762	411	1,800	1,749	749	1,208	10,502

診療科別外来単価(単位:円)

	内科	外科	整形外科	小児科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	産婦人科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	歯科	その他	平均
川西(H18)	14,487	15,797	8,756	10,887	7,889	8,103		7,747	14,922					11,753
川西(H19)*	7,517	11,208	4,663	6,854	5,347	6,216		7,138	9,006					6,982
加古川	16,215	24,578	7,834	14,503	8,347	7,884	5,849	7,697	20,461	15,203	22,987		27,073	13,323
赤穂	22,451	9,964	4,289	8,062	5,876	5,730	3,028	5,411	16,427	7,832	14,359	6,253	51,614	9,783
西脇*	11,824	11,901	6,148	6,910	5,339	5,938	3,150	6,091	10,522	13,813	24,348	5,342	23,043	7,951
加西	24,428	15,820	8,487	9,292	10,122	7,586	6,527	7,622	18,144		26,002		33,812	14,552
神崎	17,009	10,277	10,871	7,181	6,062	5,561		9,406				7,925	19,118	10,502

出所: 市立川西病院 病院年報、平成18年度病院事業経営状況調査集計表

ベンチマーク比較(医業費用)

医業費用(単位:百万円)

病院名	医業費用								
	合計	給与費	うち賃金・報酬	うち退職給与金	材料費	うち薬品費	経費	うち委託料	償却費
川西(H18)	5,329	2,770	360	0	1,604	1,256	736	442	204
川西(H19)*	4,695	2,823	377	0	907	526	746	458	205
加古川	8,855	3,883	293	199	2,845	2,116	1,345	622	517
赤穂	8,579	3,803	244	286	2,613	1,399	1,176	588	949
西脇*	5,404	3,119	201	0	1,163	715	871	550	213
加西	5,618	2,920	239	29	1,707	1,200	629	341	344
神崎	3,155	1,683	223	0	870	677	267	108	208

100床あたり医業費用(単位:百万円)

病院名	医業費用								
	合計	給与費	うち賃金・報酬	うち退職給与金	材料費	うち薬品費	経費	うち委託料	償却費
川西(H18)	1,883	979	127	0	567	444	260	156	72
川西(H19)*	1,659	998	133	0	320	186	264	162	72
加古川	2,480	1,088	82	56	797	593	377	174	145
赤穂	2,258	1,001	64	75	688	368	309	155	250
西脇*	1,689	975	63	0	364	224	272	172	66
加西	1,836	954	78	10	558	392	205	112	112
神崎	2,036	1,086	144	0	561	437	172	70	134

出所: 市立川西病院 病院年報、平成18年度病院事業経営状況調査集計表